

福井大学医学部広報誌

くすりかう



No.87

APRIL / 2024

格致によりて
人と社会の未来を拓く



国立大学法人

福井大学

愛と医術で 人と社会を健やかに

With Love and Medicine,
Making People and Society Sound

真理を探究する知への愛

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

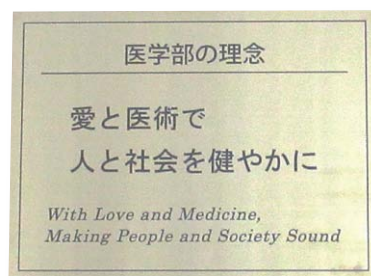
人命を尊重し人間に共感する人への愛

それは、病に臥しているようが無かるうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探究し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

医学部理念を掲示しました

医学部理念は、2016年に医学部教職員、学生及び卒業生等から意見を募り、2017年4月、医学部理念「愛と医術で人と社会を健やかに」と制定しました。「理念」には「真理を探究する知への愛」と「人命を尊重し人間に共感する人への愛」の二重の意味が包含され、福井県及び福井大学医学部（前身の福井医科大学）の歴史を踏まえたものです。

講義棟玄関の合併講義室側の壁と、看護学科棟2階ラウンジ掲示板上方に、医学部理念を掲示しました。



もくじ CONTENTS >>>

寄稿

- | | | | |
|---|------------------------|-----------|-------|
| 2 | ポストコロナでのご入学を祝して | 福井大学長 | 上田 孝典 |
| 3 | 歓迎の言葉 | 医学部長・医学科長 | 藤枝 重治 |
| 4 | ポストコロナ時代の大学生生活を充実したものに | 医学部附属病院長 | 大嶋 勇成 |
| 5 | しなる知力、福井大学での学び | 看護学科長 | 四谷 淳子 |

特集

- 6 第75回 西日本医科学生総合体育大会 総合優勝!
- 8 国家試験合格状況一覧
- 9 保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧
- 10 先輩学生からの応援メッセージ
- 11 施設のリニューアル情報
- 12 図書館だより
- 13 令和5年度学生交歓芸術祭・茶道部門に参加して／映画『おしよりん』のテーマミュージックを担当しました

定年退職教員紹介

- | | | |
|----|--|-------|
| 14 | 定年にあたり、“愛”を込めて ～がんばれ新生、任せたぞ上級生、そして教職員の皆様へ～ | 安倍 博 |
| 15 | 福井大学での12年を振り返って | 岩野 正之 |
| 16 | 福井大学での28年を振り返って 一腎臓内科の黎明期と検査部の発展期を経験してー | 木村 秀樹 |

新任教員紹介

- 17 井川 正道／中嶋 秀明／折坂 誠／本田 信治／松田 謙／梅田 尚子／高橋 和人
内藤 達志／高原 志津子

新生のみなさんへ

- 20 学生支援体制について
- 22 医学図書館へようこそ♪
- 24 グローバル人材育成研究センターのご案内
- 26 福井大学学生ポータルと提出書類について／医学部生として知っておくべきこと

健康・相談

- 27 松岡キャンパス 保健センターのご案内
- 29 健康相談とカウンセリング
- 30 令和6年度 学生定期健康診断等日程表
- 31 こころの健康について、考えてみませんか
- 32 学生総合相談室のご案内
- 33 キャンパス・ハラスメント防止のために
- 34 イッキ飲み、しない! させない! 社会のルール ほか

トピックス

- 35 令和5年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 / 令和5年度 卒業生からの寄贈品
- 36 本学医学部とベトナム国立皮膚疾患病院との学術交流協定を締結しました
- 37 令和5年度 海外研修プログラム ベトナム研修について / Hawaii Tokai International College留学について / 国際事業化可能性調査プログラムについて
- 38 医学部附属病院だより

課外活動

- 39 部活動・サークル紹介
- 48 第44回 福井大学医学部「暁祭」について

行事

- 49 令和6年度 医学部授業日程
- 50 寄附のお願い

〈表紙の写真〉
第75回西日本医科学生総合体育大会
優勝旗

〈裏表紙の写真〉
福井駅西口から撮った中央大通り
(医学部生提供)

ポストコロナでのご入学を祝して

福井大学長 うえだ たかのり 上田 孝典



医学部医学科・看護学科の新入学生の皆様、このたびはご入学誠にありがとうございます。学長としても出身学部でもあり、心よりお慶び申し上げます。

本学は4つの学部から成りますが、いずれも専門職への指向が強い学部です。すなわち各学部ともそのゴールとして、卓越高度専門職業人になることを目指しています。何がそれに当たるかは、各学部で各々姿・形が違うので、その在り方を探求してもらっています。今年度からは、その在り方にふさわしい活動を実践する学生さんの表彰制度も4学部で出来上がりましたので、ひとつの目標としておいてください。このような形で、いきなり表彰制度の説明からスタートしましたが、寝ても覚めても勉強、実習、成果を求める学生生活ではありません。ちなみに、運動部の方々は西日本医科大学総合体育大会に参加し（西医体）、主として夏休みに行われるイベントに参加しますが、なんと昨年はめでたく総合優勝を果たして頂きました。文武両道の極みです。こういう人たちの将来に卓越高度専門職業人としての活躍を期待しています。

スポーツに劣らず重要なことに国内外で見聞を広めることがあります。ようやくコロナ禍も落ち着いてきたので、海外へ比較的自由に渡航することも可能となりました。海外へ出てみると、自分に不足している知識・教養は、日本の文化に対するそれであること・国際人になるには何が必要かがよく分かります。

ところで、本学の全国的知名度を考える際、欠かせない事項として本学が16年

連続実就職率ランキング、日本第1位だということをご存知でしょうか。そのカギは離職率にあり、特に就職後1年以内の離職率が他大学に比べ、約10分の1と少なく、この福井大学のマッチングの巧みさが高い就職率の秘訣となっています。就活生と我々自慢の教職協働で支援するキャリアセンターの連携によるものです。この算定には医学部も入っているのですが、国家試験で不合格になり減点の対象者が増加することのないように注意してください。

現在、あまたある学問領域の中で、本学も含め、注目されているもののひとつが数理・データサイエンスです。本学も創立100周年を迎えた工学部を中心に、データ科学・AI教育研究センターを設け4学部総出で教育、これからは研究も含め力を入れる体制がようやく整いつつあります。医学部では県とも連携し、脳卒中・心臓病等総合支援センターなどにより医療に関するビッグデータの解析が計画されています。皆さんも興味のある諸君は特に、楽しみにしておいてください。

また、県民から待たれた北陸新幹線の延伸が果たせ、本学も嶺南の地、敦賀・小浜を中心に嶺南の2市、4町とコラボしつつ、その活性化を目指し嶺南プロジェクトを展開しており、これも4学部で意見交換しつつ共同で様々な試みが行われています。クラウドファンディングを利用した高度医療の実践も盛んであり、高度生殖医療センターが婦人科を中心に成果を挙げています。また、我が国最多の原発立地県にある国立大学とし

て、日本で6番目になる高度被ばく医療支援センターも昨年完成し、本学が全国区で被ばく医療を名実ともに支える体制が構築されています。医学部・附属病院にとっての大きな課題に働き方改革があります。附属病院の医師、看護師、事務職員の大変なご努力で進められています。皆さんも十分にその内容を理解し、実践できるよう尽力してください。皆さんの気になるキャンパスライフについては、同窓会、関連企業等の支援も得て、内容の充実を図っています。

さて毎年、学内向けに学長からのキーワードを設けていますが、今年はダイバーシティです。ある集団の中で異なる特性を持つ人々が存在しうることを前向きに捉える言葉としてご理解ください。

いつも結びに述べるのですが、少し遠方ながら学長室は皆さんのためにも、開かれています。ぜひお立ち寄りください（メールも可）。

福井大学長 うえだ たかのり 上田 孝典

1949年生まれ。京都大学医学部卒。内科医。1984～1986年、米国ノースカロライナ州立大学薬理学教室研究員。1995年、福井医科大学内科学（1）講座教授。2013年、福井大学理事・副学長（企画戦略担当）。2019年4月より福井大学長。

歓迎の言葉

医学部長・医学科長 ふじ えだ しげ はる
藤枝 重治



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長かったコロナ禍から解放されてほぼ1年、4年前と全く同じとは言えないまでも、かなり自由かつ楽になってきました。大学入学後は、部活・サークル活動、バイト、旅行と様々なことをやりたいと高揚していると思います。人生の中で、大学生時代の友人は、一生の友です。何の利害関係もなく、何時会っても学生時代に戻れます。とりわけ時間を自由に使える大学での友人は、皆さんの人生の宝でもあります。人生、恋愛、仕事、勉強、すべてにおいて毎日語り合って欲しいと思います。COVID-19は中学・高校時代の部活、修学旅行、学校祭などにもかなり影響を及ぼしていたと推測します。SNSとは異なった対面での言葉のやり取りを是非とも取り戻していただきたいと思います。

さて医師・看護師・保健師などの医療人に就く皆さんに必要なのは、幅広い豊かな人間的素養です。皆さんは、患者さんに直接話をしなければいけません。患者さんの生活環境、人生経験、物事の考え方をほとんど知らない段階で、診断した病気について説明し治療を相談することになります。すなわち「こちらがこの様に言ったら、相手はどの様に感じるのか」と推測できないといけません。「無礼な医師だ」「人を想いやれない医療者だ」とか聞いたことはないですか？皆さんは決してそのようなことは言われたくないと思います。そうならないために、有

効な方法は、読書です。世の中には様々な価値観、思考過程が存在します。読書によってそれらを知識として知ることができるのです。恋愛小説、推理小説、医学小説、時には哲学、芸術解説書、どのような本でも構いません。読書によって、人は謙虚に作者の価値観や知識を知り、「教養」、「想像性」、「洞察力」が身に付けられます。それでいて知的好奇心を高め、高度の専門能力を有することができる基礎を作ります。多くの価値観を知っている医療者が、複数の方法で治療を説明でき、ベストの結果に結び付けられるのです。最初の数冊の成功体験が読書の継続を生みます。気力旺盛で高い志を持つ今こそ、まず1冊読みましょう。

次に様々な芸術に触れてください。医療者になると音楽、絵画、書道、茶道、華道、そのほか様々なものに、大きな力があり、患者さんの生きる力になることを知ります。もちろん自分も癒されます。岡倉天心の「茶の本」では、「花はわれらの不断の友である。花がなくてどうして生きて行かれよう」とも書かれています。学生時代に、もし素敵と感じる芸術・美術を発見したならば、それほど素晴らしいことはありません。一生あなたに潤いを与えてくれるとともに、患者さんを勇気付けることが可能となります。これはスポーツも同様かもしれません。今までスポーツと縁のなかった人も、体を動かすことで、今までとは違った解放感に包まれると思います。

そしてもう一つ、旅に出てください。旅行は、非日常で、思いがけないことに出会います。十分に調べて出発すべきですが、思い付きででかけるのも面白いものです。できれば海外に行つて欲しいと思います。日本の価値観とは異なった文化に出会い、世界は様々なだと実感できます。旅行のためだけではなく、将来の医師としてキャリアのためにも英会話を勉強してください。NHKの英会話を聞いて毎日発音することでかなり進歩します。医学部としても英会話には重点を置いています。とにかく英語で喋る、英語で聞く習慣をつけてください。できれば外国人と友達になって話をするのが最も手取り早いです。そうした実用的な英語は、皆さんの将来に必ず役立ちます。

コロナも5類とは言え、1月からまた増加しています。附属病院内では、マスク着用になっています。皆さんは通常の対面授業、実習です。令和6年度は基礎実習棟の改修があるので、入学してすぐに解剖実習が始まります。医学を勉強する最初の関門、そして基本が人体解剖学です。大変だと思いますが皆さん頑張ってください。本年度入学者全員が、6年間で卒業し、全員が国家試験に一発で合格することを期待します。どうか楽しく、充実した6年間でありますように。我々スタッフは全力で応援します。どうぞ頑張ってください。

ポストコロナ時代の大学生活を 充実したものに

医学部附属病院長 おおしま ゆう せい
大嶋 勇成



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、皆さんの中にはご自身やお知り合いが被災された方もおられるかもしれません。被災された方々にはお見舞い申し上げます。

地震発生後から、福井大学医学部附属病院からもDMAT（災害派遣医療チーム）や災害支援ナース以外にも、JMAT（日本医師会災害医療チーム）へスタッフを派遣し、被災地の医療機関からの患者受け入れを行いました。新型コロナウイルスのパンデミックが起きた初期の段階では、ワクチンがなく、治療法も確立されていない段階で、コロナ病棟を開設し対応にあたりました。震災やコロナ禍の様な特殊な状況におかれた場合、医療従事者としての使命感が問われるでしょう。一方で、4月からは医師の働き方改革が本格的に実施されています。医師といえども勤務時間の観点からは一労働者という扱いになり、ワークライフバランスを考えることが求められます。さて、皆さんが医学部進学を決めた時に、医師や看護師の働き方についてどのように考えられたでしょうか。社会的地位、経済的安定性、あるいは単に学業成績からでしょうか。

Noblesse obligeという言葉がありますが、医師や看護師の使命とは何か、改めて考えていただくことを願っております。

新型コロナウイルス感染症も感染症法上2類から5類になり、徐々に日常が戻ってきています。コロナ禍では、授業ですら制限され、リモート授業となった時期もあったかもしれませんが、部活動などの課外活動も制限され、皆さんの学生生活は不完全燃焼で終わったものもあったのではないのでしょうか。コロナ禍も明けて、大学生活が始まったわけですので、これまで出来なかったことに挑戦してみてください。成人年齢が引き下げられたことから皆さんは、一成人として自己責任において色々なことに挑戦することも可能でしょう。将来、学年が進むと附属病院の医療チームに加わり実習を行うことになり、実際に患者やその家族の方々と接することになります。その際、患者やその家族の置かれた状況を理解し、共感出来るように、臨床実習が始まるまでに、部活動やアルバイト等、友人以外にも様々な人と接する機会を持ち、多様な価値観の理解につながる経験を積んで頂きたいと思います。比較的自由に時間が使える学生の期間は限られていますので、

大学生活が有意義なものとなるよう願っています。ただ、新型コロナウイルスは消失した訳でないことから、病院内では未だ、感染対策のためマスク着用をお願いしています。将来、医療従事者となるわけですので、松岡キャンパスの附属病院エリアでは、感染対策への協力をお願いします。

福井は、都会のような華やかさや便利さは無いかもしれませんが、海やスキー場も近いですし、福井だからこそ経験できるものもあります。是非、福井の魅力を発見してみてください。皆さんも将来、一つの医療機関や研究機関だけに勤務する方は少なく、キャリアアップする過程で、いろいろなところに住むことになるでしょう。その地域の魅力を見つけ、そこでの生活を楽しむことは、仕事をする上でも役にたつことでしょう。また、その地域の医療の課題を理解することで、自分に何が求められ、何が出来るかが見えてくるかもしれません。どのような医師・看護師を目指すか、そのために何を今すべきかを考え学生生活を送ってください。

しなる知力、福井大学での学び

看護学科長 四谷 淳子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

COVID-19が一段落したかと思う間もなく、世界中で紛争や自然災害が後を絶ちません。身近なところでも能登半島地震2024は目を覆うような惨状でした。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。看護学では絶望感や喪失感から回復する能力を指す“レジリエンス”という概念が重要です。レジリエンスは心理的な強さ、柔軟性、適応力、自己肯定感などの要素から成り立ち、様々な学修課程で深く学びます。学問としてのみならず自分自身にとっても他者との関係にとっても極めて重要な概念です。

さて、私は皆さんに次の5つのことを考えてこれからの大学生活を始めたいと考えています。

1つ目は、夢を忘れないこと。皆さんは看護師、保健師、助産師になりたいと思い、本学に入学されたと思います。これからは、さらにどんな看護師、保健師、助産師になるかという夢を膨らませてください。患者さんにしっかりと寄り添える看護師になりたい、AIやビッグデータを活用できる保健師になりたい、少子化をストップさせられるような助産師になりたい、などなど。未来の自分の姿をイメージする、未来の自分から今をみることは、どうしたらその夢に近づけるかを考えさせてくれます。

2つ目は、頑張りすぎないこと。誤解を恐れずに言えば、勉強、勉強と大学での教育課程に埋もれてしまうのではなく、自分の心の成長にタプリと時間を使って下さい。知識や技術は日々刷新されて、その実践は限りなく作業レベルに収束します。大学で学ぶべきことは、これからどのような知識と技術が必要なのかを問い続ける力です。これからの人生、従来の考え方に縛られず、柔軟な発想を持ち多様な生き方をすることが求められます。その基盤を身につける場所が大学です。そのためには皆さんの瑞々しい豊かな人間性が一番大事だと考えます。

3つ目は、思ったことを口にする。どちらかと言えば、聞く側になるより自分が情報発信できるようにした方が良いでしょう。これは、自分の考えを喧伝するということよりも、さらに広い視野からその考えを熟成させるためです。たった一人の考えには限界があります。今の科学は多分野融合で力を合わせて進めることが重要です。まず自分が口火を切ることは、研究成果を世に問うときと同じです。

4つ目は、友達を大事にすること。学生時代は生涯の友を得る絶好のチャンスです。学部・学科、大学を超えて、人との出会いと触れ合いを大切にして下さい。それらは、皆さんの財産となります。100年を生きる人生の中で、この大学生時代に築いたネッ

トワークが大きな影響を与えることでしょう。学問領域や人種を超えた、様々な交流から、皆さんのアイデアが拡がり、能力が高まることでしょう。その仲間との交流が、皆さんが危機に陥った時に、救いとなるはずです。

5つ目は、まずは幸せになりましょう。自らが幸せな人ほど、人を幸せに導く力があります。幸せになるには、夢や目標に向かって行動し、自己実現をはかっていく中で幸せを感じてください。辛いことがあっても何とかなるとポジティブに考え、自分の好きなことや得意なことを突き詰め、ありのままの自分を大切にしてください。そして、周りの人とのつながりの中で「ありがとう」の感謝の心を忘れずにいましょう。

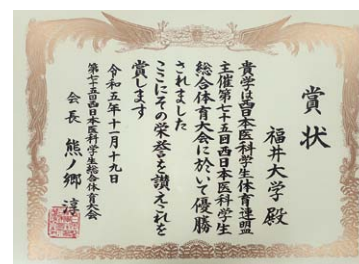
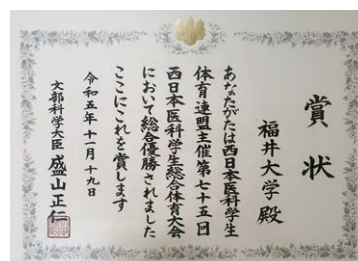
実はこれらは、長年、オーストラリアで緩和ケアに携わってきた看護師さんが、人生の最後に多くの人が後悔することを記した5項目に関連するものです（「死ぬ瞬間の5つの後悔」プロニューウェア（著）、2012）。皆さん自身のためにも、また将来、皆さんがケアする患者さんのためにも、後悔しないようにと纏めてみました。これらはレジリエンスを語るうえでも大事なことばかりだと私は考えています。健康科学のプロフェッショナルとして、人々の健康と幸せのプロデューサーを目指して大学での学びを仲間とともに大いに楽しんで下さい。

特集 1

第75回 西日本医科学生総合体育大会 総合優勝！

〈競技別の主な総合成績〉

男子バレーボール部		優勝
ラグビー部		優勝
水泳部	女子部門	準優勝
卓球部	男子部門	5位
弓道部	女子部門	5位
ハンドボール部		6位
陸上競技部	男子部門	7位
水泳部	男子部門	7位
女子硬式庭球部		ベスト8
男子バスケットボール部		ベスト8



2023年秋に西日本医科学生総合体育大会（以下、西医体）が4年ぶりに開催され、本学は全21競技で2位に大差をつけ、見事総合優勝の栄冠に輝きました。

団体で、男子バレーボール部とラグビー部が優勝。個人で、バドミントン女子ダブルス、水泳女子の個人バタフライ50mと100m、陸上競技110mハードルで優勝を飾りました。

12月6日、各競技で優勝した学生が、優勝旗を携え藤枝重治医学部長、松峯昭彦副学部長（学生担当）、西医体理事の定清直教授に結果を報告しました。男子バレーボール部の久保大成さんは「大会直前にレギュラーメンバーの怪我で離脱し、チームが意気消沈したが、大会までに立て直し、優勝を勝ち取れた」と話し、陸上競技部の大橋周平さんは「4年前の大会では準優勝だったので、最後の年の大会で優勝できてとてもうれしい。タイムは大会記録に0.03秒届かず、少し悔しい気持ちもあるが、後輩に託したい」と報告。藤枝医学部長から労いの言葉がありました。



好成績を残したみなさんにインタビュー！

男子バレーボール部は、42チームが参加した中、初戦から激戦を制し決勝進出。古豪山口大学にセットカウント2-0で破り、優勝を飾りました。主将の医学科3年の久保大成さんは「コート内外のメンバーが一体となり優勝できた。来年3月の日本医歯薬大会でも優勝を目指す」と話しました。

また、ラグビー部は、12人制移行後初の大会で思うような試合運びができず苦戦の連続でしたが、勝ち上がるにつれチームの結束が生まれ、決勝では強豪宮崎大学を破り8年ぶり3度目の優勝を飾りました。主将の同4年山田達紘さんは「自分たちがリーダーになってから西医体制覇を目標に頑張った。達成できて嬉しい。連覇を目標に来年の大会も優勝したい」と次の目標に目を輝かせていました。

バドミントン部は、女子ダブルスで同4年の織田三礼さん・越崎千晶さんペアが優勝、同2年糸川望美さん・中村来夢さんペアが準優勝。男子ダブルスでも同4年西島慎大朗さん・安間健蔵さんペアが準優勝しています。織田さんは「今年3月の近畿東海医科学生大会では、早くに敗退し悔しい思いをしたので必死に練習した」、越崎さんは「優勝できたのは、部員みんなのサポートのおかげ」と感謝を述べました。

他にも水泳部では、同3年の小東あいさんが女子個人100m、50mのバタフライで優勝。女子総合でも44チーム中準優勝に輝きました。主将の同3年滝裕美さんは「福井大にプールがなく、県内各地で練習した。結果を出せてうれしい。来年は優勝を目指す」、個人バタフライ優勝の小東さんは「50mで自己ベストを出し優勝できた。来年は大会新で連覇したい」と話しました。

4年ぶりの開催となった西医体。コロナ禍の中で満足に練習できない日々が続きましたが、腐ることなく鍛錬した結果です。みなさんおめでとうございます。



2023年12月25日福井大学HPニュース、ふくだいプレス49号「青は藍より出でて」から引用

特集 2

医師国家試験合格状況一覧 >>> from 学務課

6年間を振り返って

福井大学医学部附属病院 研修医 ふじ さわ 藤澤 かえで 楓 (令和4年度医学科卒業生)



初めまして、令和4年度卒業生の藤澤楓と申します。現在は福井大学医学部附属病院で研修医1年目として勤務しております。同期の研修医は決して多いとは言えませんが、その分助け合いながら研修を積んでおります。また、上級医の先生方や研修医2年目の先生方にはお忙しい中にもかかわらず1から丁寧にご指導ご鞭撻いただき、少しずつではありますが医師としての基礎を学んでいる最中です。

今回、このような執筆の機会をいただきまして誠に光栄に思います。働き始めてからは学生時代を振り返って後悔とまではいきませんが、「もっとこうすればよかった」という反省をよくしております。もし、それがこれから福井大学で学ばれる皆さんの参考の一つになればいいと思い、6年間を振り返りながら執筆させていただきます。

まずは勉学面からですが、私は学生時代、試験に怯えて半ば脅迫的に勉強するような学生でした。かといってギリギリで勉強を開始してそれでも受

かってしまうような要領の良いタイプでもなく、少し早めから孤独に勉強してそれなりに受かりながら、試験の結果に一喜一憂しているような人間でした。結局は試験のために勉強をしており、試験が終わると忘れてしまっていることも多く、今になって学生時代の勉強が基礎中の基礎であることに気が付かされております。試験の成績などはあくまで副産物であり、自分の中でどの程度理解し身に着けたかが重要だったと実感しております。また、どの職業でもそうではないかと思いますが、働き始めるとほとんどのことはマルチタスクです。学生時代はうらやましいくらいにしか思っていないでしたが要領よくこなすのもそれはそれで将来役に立つ力がつくのではないかなと思います。

勉学面以外ですと、是非6年間で人間性を磨き愛されるような人になってください。私が学生時代に最も怠った部分です。元来の人見知りと負けず嫌いから友人はとて少なかったです。

一人で何でもできるような天才ならばブラックジャックを目指すのもよいのかもしれませんが、結局現在はチーム医療です。ましてや研修医ではできないことのほうがほとんどで様々な方に助けていただく毎日であり、適切な人間関係の構築に頭を抱えています。そうならないように、学生時代にはぜひ様々な方と交流をもち、いろんな人から愛されるような人になってください。

長い文章をここまで読んでいただきましてありがとうございます。今後の学生生活のご参考の一つにいただければ嬉しいです。長いようで短い6年間だと思います。日々を大切に楽しんで素敵な大学生活を送られてください。そして福井大学で学ばれ成長された皆さんを臨床の現場で拝見する日を楽しみにしております。

区 分	卒業 年度	受 験 者 数 (人)		合 格 者 数 (人)		合 格 率 (%)	国立大等 (位)	全大学等 (位)
		新 卒	既 卒	新 卒	既 卒			
第114回 医師国家試験	R1	106	22	106	16	(100.0) 95.3	7/43	23/80
第115回 医師国家試験	R2	115	7	111	2	(96.5) 92.6	21/43	43/80
第116回 医師国家試験	R3	107	7	104	4	(97.2) 94.7	11/43	25/81
第117回 医師国家試験	R4	101	5	97	4	(96.0) 95.3	8/43	23/82
第118回 医師国家試験	R5	120	5	115	2	(95.8) 93.6	19/43	45/82

(注)()内は、新卒者の合格率である。

保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧 >>>

from 学務課

国家試験を受験される皆様へ

福井大学医学部附属病院 看護部 ^{やま だ}山田ゆきの (令和4年度看護学科卒業生)

はじめまして。看護学科卒業生の山田ゆきのと申します。私は今、福井大学医学部附属病院で看護師として働いています。病棟では先輩方からたくさんのことを学ばせていただき、同期と助け合いながら日々看護に励んでいます。

私は在学中の4年間模試委員を務めていました。そのため国家試験受験について意識する時期が他の学生より少しだけ早かったかもしれません。本格的に国家試験対策を始めたのは4年の夏頃だったと思います。私生活ではアルバイトを1月上旬まで続けていました。そんな私の国家試験のお話をさせていただければと思います。

私が国家試験対策を行う中で大切だと思ったことは日々の生活にメリハリを付けて勉強し、健康的な生活を整えることです。私はアルバイトと勉強を両立していました。アルバイトを受験近くまで続けることに賛否両論があると思います。しかし、私は勉強の時間、働く時間のメリハリを付け、勉強のリフレッシュにアルバイトを活用しました。多忙ではありましたが、オンとオフを使い分けることができ、限られた時間に集中して勉強に取り組むことができました。また、日々健康に気を付け、秋ごろから早寝早起きを習慣化しました。国試当日は朝食時間や出発時間など、朝がとても早いので気を付けてください。

国家試験の具体的な勉強では、レビューブックと過去問題を使用しました。問題は解くだけにせず、不正解の選択肢も振り返りなぜ不正解なのか確認し、問題文に登場する単語もレビューブックで復習して関連する分野を同時に学習するようにしました。一つの問題を解くだけで、大変時間はかかりましたが、継続することで着実に力が付いたように感じています。勉強場所として、私は友人とセミナー室や飲食店を利用していました。何か新しい知識を見つけた時は共有し、難しい問題や解き方が分からない問題があった際は相談するようにしていました。しかし、コロナウイルスに感染する心配があったため受験が近い時期はSNSを使用して、自宅で友人と電話を

繋いだまま朝から夜まで勉強していました。孤独でも近くで一緒に頑張る仲間がいることは、大きな心の支えとなりました。

最後になりますが、国家試験を通して知識をつけるだけでなく、人と支え合って物事に取り組むこと、粘り強く諦めない姿勢

など様々な力を得ることができました。それらは看護師になった今もとても役立っています。皆さんの充実した学生生活、国家試験合格をお祈りします。

保健師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第106回	R1	18	18 (100 %)	0	0	18	18	100.0	91.5
第107回	R2	14	14 (100 %)	0	0	14	14	100.0	94.3
第108回	R3	17	17 (100 %)	0	0	17	17	100.0	89.3
第109回	R4	14	14 (100 %)	0	0	14	14	100.0	93.7
第110回	R5	15	15 (100 %)	0	0	15	15	100.0	95.7

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

助産師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第103回	R1	6	6 (100 %)	0	0	6	6	100.0	99.4
第104回	R2	3	3 (100 %)	0	0	3	3	100.0	99.6
第105回	R3	4	4 (100 %)	0	0	4	4	100.0	99.4
第106回	R4	3	3 (100 %)	0	0	3	3	100.0	95.6
第107回	R5	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	98.8

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

看護師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第109回	R1	58	58 (100 %)	1	1	59	59	100.0	89.2
第110回	R2	58	58 (100 %)	0	0	58	58	100.0	90.4
第111回	R3	62	62 (100 %)	1	1	63	63	100.0	91.3
第112回	R4	62	62 (100 %)	0	0	62	62	100.0	90.8
第113回	R5	63	63 (100 %)	0	0	63	63	100.0	87.8

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

特集3

先輩学生からの応援メッセージ >>>

『君たちはどう学ぶか』

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

皆さんは今、これから始まる新しい冒険に向けて心躍る気持ちでいっぱいなのではないでしょうか。私自身この5年間で振り返ると、希望と不安を抱いての新生活の幕開け、パンデミック発生、リモート授業への移行、コロナウイルス5類移行に伴う学校生活の正常化など、目まぐるしく変化しながらも充実した5年間で過ごしてきました。その一方でパンデミック前と変わらない日常を取り戻した皆さんには、これから波乱万丈で予測できない大学生活が待っていることでしょう。そんな皆さんが、少しでも不安を解消し希望に満ちた大学生活を送れるように、福井大学で学ぶ魅力を3つ紹介させていただきます。

1つ目は「美味しい食と広大な自然に溢れていること」です。生活の基盤となる衣食

住の中で、最も土地柄に左右されるものが食です。福井には美味しい水や米、野菜、海産物に加えて、国内屈指の日本酒や越前ガニ・蕎麦など数多くの特産品があります。また自然豊かな土地であるため、アウトドア（BBQ/キャンプ/スノボなど）も盛んです。福井の豊かな食と広大な自然を堪能してその魅力を全身で感じて下さい。

2つ目は「最高の仲間を作れる環境にあること」です。これは地方医学部ならではの利点ですが、独り暮らしの割合が高いことから生徒同士の交流がしやすく、また全国から同じ志を持った子が集まるため、生涯の友に巡り合うチャンスが数多くあります。あとは皆さんの気持ちと行動次第です。様々な人と交流し、最高の友達を作って、大学生活を充実したものにしてください。

3つ目は「勉強できる環境が整っているこ

医学科6年 ^{すぎうら} 杉浦 ^{りょう} 遼



と」です。本学には24時間開放の医学図書館に加えて、昨年度から臨床実習（4年生の1月から始まる病院実習）生のみ使用可能な24時間開放型自修スペースが新しく設置されました。また低学年のころから興味のある研究室に訪れ研究を行うことや海外留学が可能なこと、USMLEの取得条件も満たしていることから、本人のやる気次第でどんなことにでも挑戦することが可能です。

最後に少し真面目な話になりますが、医師を目指すということは、将来命を背負うこと、そのために一生勉強する必要があることを意味します。この福井という最高の土地で共に高め合える仲間を作り、よく遊び、自分が一生かけて学びたい学問を見つけ、医師人生の土台作りが出来るように励んでください。心より応援しています。

“雪と大学と私”

「なんもねえ。」自分がはじめて福井の地を訪れたときに抱いた感想です。あるのは雪、山、畑。少し不安な気持ちを抱きながら大学生活がスタートしたことを、今でも鮮明に覚えています。しかし、そんな福井に対する印象も3年間の学生生活を経て大きく変わりました。福井大学松岡キャンパスは、自然に囲まれた緑豊かなキャンパスです。そのため、季節が移ろいゆくのを五感で楽しむことが出来ます。特に冬は大学から1時間足らずの場所にあるスキージャンプ勝山（通称ジャンプ勝）でウィンタースポーツを楽しんだり、キャンパス内に降り積もった雪に飛び込み非日常を味わうことが出来ます。ただ、雪が積もる県だからこそ困ることもあります。それは移動手段です。福井で暮らすには車は必須と言っても過言ではありません。私は1年生の夏に免許を取得しました。しかし雪をなめ

ていた私は「車じゃ無くてもいけるっしょ。」という、謎の自信から原付での越冬を試みました。しかし、現実はその甘くなく、スリップし雪を本当になめる羽目にあいました。福井大学に進学を考えている方は冬までに免許を取得し車を準備するか、車を出してくれそうな先輩を見つけることを強くおすすめします。

次は学校生活について少しお話しさせていただきます。福井大学看護学科のカリキュラムは2年生までにほとんどの専門科目を終え、3年生の5月頃から12月末まで実習を行います。他の大学と違うのは看護実習が3年生の内にほぼ全て終わるという点です。他大学の看護学部ではほとんどが3年生から4年生にかけて実習を行います。福井大学は附属病院がキャンパス内に隣接しており多くの実習を附属病院で行うことが出来ます。また、附属病棟にはメディカル・イ

看護学科4年 ^{みなに} 三谷 ^{かずき} 航生



ンフィニティ・ラーニング・コモンズ（MILC）と呼ばれる実習生専用の学修スペースがあり、実習後すぐに記録に取り掛かることが出来ます。一つ一つの実習の間隔が短いことも、福井大学の特徴といえます。よく他大学の友人から「休みが少なく大変そう。」と言われる。もちろん、実習のインターバルが短いことによるデメリットもありますが、実習での学びをすぐに反映させることが出来るという大きなメリットもあります。それらのことも含めて、私は福井大学にきて本当に良かったと感じていますし、福井大学で最高の仲間と出会うことができました。

この文章が大学での新生活を不安に思っているあなたの参考になれば幸いです。一緒に福井大学医学部看護学科でのキャンパスライフを楽しみましょう。

特集 4

施設のリニューアル情報 >>>

「Medical Infinity Learning Commons(MILC)」 (メディカル・インフィニティ・ラーニング・commons) …旧西病棟7階改修

以前から医学部附属病院での実習を実施する学生から、病棟での実習や国家試験対策のための学修、昼食時に利用可能な休憩用スペース等の設置について強い要望が

ありました。

令和3年度補正予算において旧西病棟7階改修が認められ令和4年度に着工し、令和5年4月に自学自修用スペース、グループ

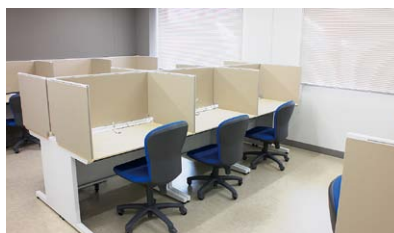
討議用スペースを備えた「Medical Infinity Learning Commons (MILC)」がオープンしました。MILCには約60席の個人学修室や5つのグループ学修室が設けられるなど、設備には学生の意見を多く取り入れています。



入口



Active Learning Hub (グループ学修室)



Personal Learning Room (個人学修室)



Nursing Student Lounge (看護学科生用ラウンジ)

〈学生の声〉

高学年向けの学修スペースであるMILCには、Active Learning Hub、Personal Learning Room、Co-Learning Roomなどのブースがあります。個人で集中して勉強したい、勉強会グループで切磋琢磨しながら勉強したい、リラックスしながら勉強したい等、利用方法によって使い分けることができます。臨床実習中の隙間時間の勉強や、卒業試験・国家試験の勉強に有効活用しています。

医学科6年 松井 真希

※執筆当時の学年です。

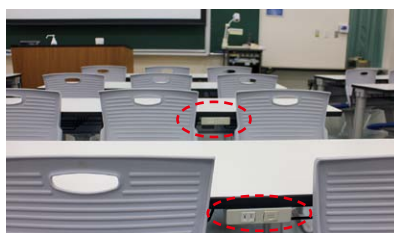
講義棟講義室 PC、タブレット等の充電用電源の設置 …修学環境整備 (講義のDX化)

コロナ禍で登学できない学生が授業を受けられるよう、医学部は独自に遠隔授業システムを開発しましたが、対面授業が主となった現在、このシステムは講義資料のデータ受け渡しや復習用授業動画の閲覧、WEBでのミニテストの実施等、学修サポートシステムとして利用されています。また、この利

用法の拡大によって講義内で使用する紙の枚数が大幅に削減され、環境にも配慮しています。

このように学生のパソコン、タブレットの利用機会が増加した結果、学生から一日中講義を受け続けるとバッテリーが持たない、という声が挙げられました。

これを受け、全学年の講義室に学生が利用できる充電用電源を設置し、バッテリーを気にせず授業が受けられるよう改善しました。



■講義棟 (中講義室)、臨床小講義室
・長机の下にコンセントを各1ヵ所設置 (前方から約半分のみ)



■合併講義室、多目的講義室、臨床大講義室、看護大講義室、看護第1・2講義室
・階段講義室および机が可動式の講義室は後方に充電ラックを各1台設置

〈学生の声〉

講義室に充電用電源が配置され、より勉強が捗るようになったと感じております。講義資料のペーパーレス化により、自身のPC・タブレットを用いて講義を受ける機会が増加しました。以前は充電が1日持たなかったため困っていましたが、今では充電しながら講義を受けられるようになり、ストレスなく講義に集中できます。

医学科2年 西尾 遥

※執筆当時の学年です。

※ MILC および充電用電源の設置には、医学部後援会からのご寄付をいただいております。

特集5

図書館だより >>>

ほっちょんのらくらく論文勉強会

毎月1回（最終週の火曜または木曜17:30～18:30）、医学図書館グループラボ9にて『ほっちょんのらくらく論文勉強会』を開催しています。麻酔科蘇生科の准教授細川康二先生主催によるもので、医学系論文など医療情報について理解を深めるための学生さん向け勉強会です。毎回、参加者は初参加の方、おなじみの方、学年も1年生から6年生までとさまざまです。授業だけでは学べない「医療」を考えるきっかけとして気楽に参加しませんか？1年生や看護学科生も大歓迎。そうそう、6年生からは「ここで統計を勉強したことは国試の勉強にも役立つからお薦めです！」とのことです。皆さんお待ちしております！

細川先生からのメッセージ

医療に関する情報は詳細で多岐に渡り、すべての情報に追いついていくことは不可能ではないかと思うくらいです。この勉強

会では、今後医療者となり現場ではたらくようになって役立つ医療情報の効率的な得方、批判的な吟味の仕方、情報の使い方などを、みなで学んで行きたいと思います。医師と患者に必要なEBM[※]のステップ（1～5）を各回ローテーションで学んでいきます。

1. 患者評価と疑問の定式化
2. 情報検索
3. 情報の吟味
4. 情報要約と患者への適応
5. 振返りと患者評価

※EBM

「根拠に基づく医療」を意味する
EBM(Evidence-Based Medicineの略)



主催：麻酔科蘇生科 細川康二

第18回

ほっちょんのらくらく論文勉強会

7月27日（木） | 17:30～18:30 |
場所：図書館2階グループラボ9
Web視聴可
<https://meet.google.com/jwc-funx-pvy>
対象：医学科と看護学科の学生さん

今回のテーマ：
専門的な論文を少し細かく読んでみよう。

医学系論文を5分で読む方法を勉強します！！

教材はこちら



医学部後援会から医学図書館に図書181冊をご寄贈いただきました！

今年も医学部後援会から学生用図書181冊をご寄贈いただきました。これらの本の選書は、「学生ブックハンティング」によって行っています。通常、選書は教員推薦や利用者からのリクエスト、図書館員選書によりますが、ブックハンティングは、学生の皆さんが直接書店に行って実際に本を手にとっていただきながら選書していただく取組です。医学書だけにこだわらず、写真、建築、手芸、小説、生き方など広い視点で選書いただいております。ブックハンティングは毎年秋に実施しますので、是非参加していただき、図書館の書棚を魅力あるものにしませんか？



特集 6

令和5年度学生交歓芸術祭・茶道部門に参加して

茶道部 / 医学科3年 戸嶋 祐貴

芸交祭茶道部門には福井・石川・富山の6大学の茶道部から約40名が参加した。お茶会は本因寺及び成学寺で開かれた。私達は金沢大学のお茶席に招かれた。半東と和やかにお話させていただき、お茶とお菓子も美味しく、心地良いひとときを過ごした。私達が亭主のお茶席では富山県立大学を招いた。炭を熾して香を焚き、菊花(茶碗)、「清風萬里秋」(掛物)、虫籠(花入)、杵と臼(香合)、武蔵野(藁)、吉野棚、3つ人形(蓋置)、等のお道具の取り合わせで、秋の野に自適に遊ぶ情景を趣向とした。お茶席もお道具も気に入っていただけた。金沢観光や交流会もあり、茶道を嗜

む他大学の友人も増えて、大変楽しい2日間であった。来年の芸交祭も今から心待ちにしている。



※参加当時の学年です。

映画『おしよりん』のテーマミュージックを担当しました

医学部管弦楽団 / 医学科4年 小坂 優貴

私たち医学部管弦楽団は映画『おしよりん』のテーマミュージックを担当させて頂きました。『おしよりん』は明治時代、福井の眼鏡産業の礎を築いた増永五左衛門らの奮闘を描いた物語です。福井県内でロケを行い、地元の人がエキストラなどに協力して、オール福井を合言葉に制作されました。プロアマ問わず福井の音で映画を完成させたいという貴重な申し出を頂戴し、参加させていただくこととなりました。初めて顔を合わせる福井県の演奏家の方々ととの合同の収録でした。そのため苦労したこともさまざまありましたが、心を一つにして最後までやりきりました。自分たちの演奏した音が、映像とマッチしながら全国の劇場に流れたことは、非常に喜ばしかったです。2024

年3月に待望の北陸新幹線が福井まで開通しました。『おしよりん』を通じて全国の方々が、福井県にある数多の魅力を感じ、足を運んで下されば幸いです。



※参加当時の学年です。

定年にあたり、“愛”を込めて

～がんばれ新入生、任せたぞ上級生、そして教職員の皆様へ～

あ べ ひろし
安倍 博 (退職時所属・職名：形態機能医科学講座 行動科学 教授)



医学部の皆さん、長らくお世話になりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は3月で定年となりましたが、4月からは高等教育推進センターの特命教員として、引き続き医学部の授業を担当します。これからも大学と関わることにありますが、ここでは医学部の定年にあたってのメッセージを贈りたいと思います。

私は、2006年1月に福井大学医学部に赴任しました。それまでいくつかの大学を渡り歩いてきましたが、専門は「時間生物学」で、一貫して概日リズムとそれを動かす体内時計のメカニズムについて研究してきました。

福井大学に赴任後も研究を進めていくつもりでした。ところが、ちょうどその頃、大学を取り巻く環境が大きく変化し始め、国や社会が大学教育に対して変革を強く求めるようになりました。加えて医学教育ではさらに大きな変化を求められ、医学教育分野別評価（国際認証）が始まりました。本学でもこれらに応えるため、とくに医学部では教育体制を大幅に改革しなければならなくなり、そこでなぜか私に白羽の矢が立って、定年直前に国際認証を受審するまで、専ら教育の改革とマネジメントに携わることになりました。

いろいろなことに取り組みました。

ここでそれらを羅列することはやめておきますが、学生の皆さんに伝えておきたいことは、教育の改革やマネジメントは“学生のため”に行われていることであり、大学を良くしているのは“学生自身でもある”ということです。

それは、皆さんが頑張って医師や看護師になることだけではありません。医学部を構成する一員として、ともにカリキュラムなど教育のことに関わるということです。教育関連の会議に学生委員を含めるなど、大学も学生の参加を進めています。ぜひ積極的に教育に携わってみてください。それがきっと、本学を愛される母校として築くことに繋がるでしょう。

そして、本学の学生さんは素朴で素直でとても優しい若者です。いろいろな悩みや辛いこと、楽しいことをたくさん経験して、人の心を理解できる愛のある医師、看護師になってください。世の中の激しい変化に惑わされることなく、皆さんの良さを大切にしていって、自信を持ってたくさんの患者さんを救ってってください。

教職員の皆様、教育の改革とマネジメントを進めるにあたり、多大なご協力とご理解をいただき、心より感謝申し上げます。ご高配を賜りました歴代の医学部長、強引に巻き込んでしまった教育支援センターの先生方、教職協働で実務をお願いした

事務局とくに学務課の皆様、本当にありがとうございました。とりわけ、F. CESSやF. MOCEの開発チームの皆さん、まるで闘いのようなやり取りでしたが、とてもやりがいがありました。一方で、会議などでの私の厳しい発言により、とくに臨床系の先生方は不快な思いをされたことと思います。申し訳ありませんでした。

私は福井大学に来て、いわゆる医学部独特の“縦の壁”がとても低いと感じました。毎年のオープンキャンパスでは、「本学には白い病棟はありますが巨塔はありません」と勝手な印象を話してきました。この本学特有の壁の低さがあってこそ、医学部出身でもない私が大きな顔をして改革やマネジメントを進めることができたと思っております。

国が求める大学改革の圧力は、今後さらに高度化・複雑化しつつ強まっていくことでしょう。大変とは思いますが、教職員と学生の皆さんが一体となって、難局を乗り越えていってください。それにより皆から愛される医学部となりますよう、アイデンティティーを変えてまで教育に携わったものとして、心から願っております。

福井大学医学部の益々のご発展を祈念しております。

福井大学での12年間を振り返って

いわの まさゆき
岩野 正之 (退職時所属・職名：病態制御医学講座 腎臓病態内科学 教授)



私は、2011年9月に腎臓病態内科学・検査医学教授として着任し、12年半の歳月を経て、この3月に定年退職を迎えることになりました。大病もせず、大きなトラブルに巻き込まれることもなく、粛々とやるべきことができた12年間であったと感じております。ドラマティックではありませんが、幸せで充実した日々を過ごすことができましたのは、福井大学の皆様をはじめ多くの方の温かいご支援のおかげであり、心より感謝致します。

着任時は検査部長を兼任しておりましたが、検査部が技師長を中心とした成熟したプロフェッショナル集団であるのに対し、腎臓内科は人員不足や財政難などの多くの問題を抱えておりパワー不足が明白な状況でした。そこで、検体管理加算の算定要件に専従医師が必要となったことを機に、検査部長は木村秀樹先生にお任せし、私自身は腎臓内科に軸足を移すことにしました。幸い私の就任期間に、腎臓内科の入院ベッド数は2倍に、外来ブースは3倍に、透析室の床面積は5倍に、透析ベッド数は2倍に増加させることができました。また、糟野健司先生の活躍と泌尿器科の協力を得ることで、腎移植数を飛躍的に増加させることができました。さらに、10人少々とは多くはありませんが、非常に優秀な新入医局員たちの成長にも助けられ、大学病院の腎臓内科として十分に機能す

るレベルになったと思います。

着任時のミッションとして、「福井県を日本一腎不全患者が少ない医療圏に」を掲げました。コロナ騒動が始まるまでは、福井県内のすべての市町の医師、コメディカルや市民の皆様を対象に、慢性腎臓病（CKD）の啓発活動を精力的に行いました。3月には「World Kidney Day in 福井」と称する啓発イベントを立ち上げて40人のボランティアとともにエルパホールで開催し、毎年500人以上の市民の皆様にご参加頂きました。最近の統計調査では、福井県は全国一人口当たりの透析患者数が少ない県となり、ある意味で目標が達成できたように思っております。腎臓内科医として、もう一つの重要なミッションは、「福井県を透析患者さんが安心して暮らせる医療圏に」でありますが、残念ながら嶺南や奥越では、腎臓専門医や透析専門医がゼロに近い状態が続いています。多くの病院から腎臓内科常勤医の派遣依頼を頂いておりますが、私の力不足で実現できておりません。こちらのミッションの達成については、次期教授にバトンを渡したいと思います。

研究については、新しい間質性腎炎の発見、新規疾患概念の提唱、急性腎障害の新規治療法・診断法開発、新規透析法や画像診断法の開発などの独創的な研究を推進し、国内特許4件と国際特許1件を取得しました。特筆すべきは、高橋直生先生が発見

した新しい間質性腎炎である IgMPC-TIN ですが、世界的に注目を集めており、米国の教科書にも2ページを使って記述されています。腎臓学会でも IgMPC-TIN のセッションが設けられ、新規疾患として認知されました。学会活動に関しては、第51回日本腎臓学会西部学術大会を主催させて頂き、約2,000名の会員にご参加頂きましたが、コロナ禍真っ只中でしたので完全オンライン開催となってしまいました。

最後に教育についてですが、元来私は教えることが大好きです。腎臓内科は、水・電解質異常、チャネル・トランスポーターや腎病理など、理解するのに骨が折れる難解な分野ですので、多くの学生や研修医が苦手意識を持っています。私は、臨床実習の学生には毎回4時間をかけて症例のまとめを行い、研修医には毎朝30分ですが朝レクチャーを行うことで、腎臓内科の魅力を伝えることができたのではないかと思います。

私は米国も含め6つの大学を渡り歩いてきましたが、卒後一度もアカデミアを離れた経験がありません。定年退職を機に、一臨床医に立ち返り、地域医療に少しでも貢献できればと考えております。この12年間、福井の皆様から頂いたご厚情に心より感謝致します。

福井大学での28年間を振り返って

—腎臓内科の黎明期と検査部の発展期を経験して—

木村 秀樹 (退職時所属・職名：検査部 准教授 (検査部長))



2012年7月に病院検査部長を拝命して、約12年の月日が経過し、大過なく職務を遂行できましたことに関係の皆様深く感謝を申し上げます。福井大学には28年間お世話になりましたので、この間の臨床、研究、教育について振り返ってみます。

私は、1996年4月に検査部・腎臓内科の助手として採用され、前半の16年は腎臓内科を中心に、その後12年は検査部管理をしながら診療に携わってきました。入職当時の腎臓内科(下條文武教授)では、診療は旧第一・第三内科の外来枠(月・木)と入院枠(3床)を借りて行い、血液透析は泌尿器科と協力して旧東6階病棟(3ベッド)で実施していました。検査部は病理を含み総勢僅か21名でした。2003年からは腎臓内科(吉田治義教授)の診療が独立し、2007年には外来週3回となり、血液浄化療法部(9ベッド)が新設され、2009年には入院枠も7床となりました。2011年からは岩野正之教授が着任され、腎臓内科は更に発展したことは皆さんご存じの通りで、大変嬉しく思っています。検査部では、2003年に病理部が独立し、2005年には輸血当直と外来採血管準備支援が開始されました。2006年には血液浄化療法部新設のため細菌室が移転し、2009年には超音波センターが開設されています。この間の業務拡大のため5

名の技師の増員となりました。

2010年からは病院の施設基準として検体管理加算Ⅳを取得していましたが、2012年には、厚生局の厳しい監査に完全対応するために、臨床検査専門医の私が岩野先生から検査部長を引き継ぐことになりました。最初の仕事として、まず、外来迅速検査加算に対応できる検査体制を構築しました。また、病院執行部の方針に應えるべく、リスクマネジメントの強化と診療支援の拡大のため、細菌・生理・治験担当スタッフの増員を実現しました。現在では、ICT、NST、治験、採血管準備、骨髓検査支援、術前検査支援、排尿機能検査などの多岐にわたる診療支援に貢献しています。もう一つの大きな課題は、ISO15189の取得でした。世界水準の品質管理のため、数百以上の品質文書・手順書・記録を作成し毎年レビューをします。再雇用で人員が増加することを見込んで2017年後半より準備し、2019年にISO取得、2023年に更新しました。大変な業務増を乗り越えたスタッフの皆さんへ感謝するとともに、この活動の中で自立性の高い検査部が構築できたことは望外の喜びとなりました。

研究では、透析患者の遺伝特性と合併症の関連性、低酸素性腎線維化の分子機序の解明、脂質活性化転写因子の腎保護作用などを国際・

米国・英国腎臓学会誌などに発表し、一部が腎臓内科の医師、中国の留学生、検査部技師の学位論文となりました。また、技師が発案した感染症領域の研究を学位論文化したことも貴重な経験でした。今も博士号取得を目指す技師が複数在籍しており、将来的には、技師が自立して学位論文を生み出せる検査部になることを期待しています。

専門医教育では、2018年から新専門医制度の基本領域に臨床検査専門医が設定されました。現在、幸運にもプログラムに2名、カリキュラムに2名が登録中で、今年は初の専門医が誕生する予定です。本領域は、臨床検査医学として精度管理・検査部運営まで広く学び、医療に貢献する重要な領域ですが、県内には2名だけです。これから徐々に専門医が増え、各基幹病院で活躍されることを願って止みません。

最後になりますが、新体制での臨床検査医学教育の充実と検査部の今後益々の発展を心より祈念しております。28年間有難うございました。



いかわ まさみち
井川 正道

○所属・職名：地域健康学講座 教授
○就任年月日：2023年4月1日
○出身高校：岐阜県立大垣北高等学校
○出身大学：福井医科大学
○就任前の職名：地域高度医療推進講座 講師
○趣味・特技：旅行（乗り鉄）、読書（主に漫画）、人間観察

福井県からの寄附で新設された地域健康学講座の教授を拝命し、保健所を核とする地域保健を推進できる人材の育成・確保、およびビッグデータ・コホート研究による地域健康課題の分析と対策に取り組んでいます。また、遺伝診療

部の部長として、各科の協力をいただきながら、遺伝カウンセリングや臨床遺伝専門医の育成も行っています。高エネ研（兼任）では、PET/MRIによる脳神経疾患の病態研究や診断法開発も推進しています。これからの時代きっと必要にな

るこれらの研究や診療が発展するように、仲間を増やし取り組むことが自分の使命だと思っています。公衆衛生やデータサイエンス、遺伝診療、分子イメージングに興味のある方はぜひお声がけください。



なかじま ひでまさ
中嶋 秀明

○所属・職名：整形外科学 准教授
○就任年月日：2023年4月1日
○出身高校：桐蔭学園・理数科（神奈川県）
○出身大学：福井医科大学
○就任前の職名：整形外科学 講師
○趣味・特技：海釣り・旅行・ドラえもん雑学

学生時代の病院実習で見学した脊椎や硬膜をなぜか美しいと感じ、迷うことなく母校の整形外科に入学し、運よく希望通りの脊椎脊髄外科学を専攻させて頂く道を歩んで参りました。整形外科の中でも最もニーズが高いはずの脊椎脊

髄外科領域ですが、福井県内の脊椎外科医数は極めて少なく、最後の砦である本学には多くの患者さんが訪れます。小児期から高齢者まで、「自分で動ける」ための治療を行い、「その人らしく生きること」を支えることが整形外科の使命で

す。これからも、「(福)井の中の蛙」にならないように視野を拡げつつ、「福井の患者さんは福井で治す」ことをモットーに、臨床・研究・教育に努力を継続していきたいと思っています。宜しくお願い致します。



おり さか まこと
折坂 誠

○所属・職名：産科婦人科学 准教授
○就任年月日：2023年4月1日
○出身高校：富山中部高等学校
○出身大学：福井医科大学
○就任前の職名：産科婦人科 講師
○趣味・特技：お酒

私は富山県出身で、1987年に福井医科大学に入学し、当時は周りに田んぼしかなかった松岡キャンパスで、青春を謳歌しました。所属していた卓球部では、夜遅くまでよく練習しました。先輩方にとっても可愛がっていただき、チームプレイの大切さを学びました。現役学生にも、

今を思いきり楽しんで欲しいと思います。1993年に卒業し、産科婦人科学教室へ入局しました。子どもの頃から、生命の創生と誕生に興味があったからです。2003～2005年にはカナダ・オタワ大学へ留学し、卵巣の研究に没頭しました。帰国後は不妊治療に邁進し、2022年に

高度生殖医療センターを開設することができました。37年前に私を拾ってくれた母校へ、少しでも恩返しできるよう、これからも粉骨砕身の気持ちで頑張りたいと思います。皆さまのご指導とご支援を、何卒よろしくお願い致します。



ほんだ しんじ 本田 信治

- 所属・職名：基盤看護学分野 准教授
- 就任年月日：2023年4月1日
- 出身高校：神奈川県立平塚江南高等学校
- 出身大学：東京工業大学
- 就任前の職名：生命情報医科学講座 染色体機能学分野 助教 (PI)
- 趣味・特技：旅行、音楽鑑賞、スポーツ観戦、ゲーム

2023年4月1日付で看護学科・基盤看護学分野・生命基礎科学の准教授に着任しました。大学卒業後、アメリカのオレゴン大学に留学し、2012年に本学のテニユアトラック教員として帰国しました。その後、2016年にテニユアを取

得し、医学科・染色体機能学分野を立ち上げ、研究者としての経歴を積みました。今回のご縁で医学科・看護学科で生化学を教育する機会を得ましたが、研究への情熱は変わらず、教育と研究の両立を目指しています。学生の皆さんも、

勉強だけでなく、クラブ活動やアルバイト、旅行など、そして、もし興味がありましたら「研究」を計画的に両立させ、充実した学生生活を楽しんでください。未来が輝くよう心より願っています。



まつだ けん 松田 謙

- 所属・職名：脳神経外科学 講師
- 就任年月日：2023年4月1日
- 出身高校：滋賀県立虎姫高等学校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：社会医療法人 財団 中村病院 脳神経外科 部長
- 趣味・特技：アルコール（高級なお酒でなくても満足できるタイプです）、唄

平成13年卒の松田 謙です。脳神経外科医を志してから23年の月日が流れようとしています。専門分野は脳血

管内治療で、詰まった血管を通したり、変な血管を詰めたりしています。なんだそれはとツッコまれそうではありま

すが、実際その分野に日々没頭し、興奮しています。



うめだ なおこ 梅田 尚子

- 所属・職名：看護学講座 育成期看護学 講師
- 就任年月日：2023年4月1日
- 出身高校：福井県立敦賀高等学校
- 出身大学：金沢大学（医療技術短期大学部）看護学科
- 就任前の職名：福井医療大学 講師
- 趣味・特技：スポーツ観戦、スキー、ドライブ

令和5年4月1日付で育成期看護学分野（小児）の講師を拝命いたしました。

高速道路を使用しての長距離通勤をしています。ドライブ好きの私にとっては、仕事モードからプライベートモードへの切り替えに貴重な時間になって

おります。

超少子高齢社会に突入し、子どもを取り巻く環境は急速に変化・複雑化し、病気や入院中の子どもの看護にとどまらず、在宅や学校での支援が求められています。これまでの経験を活かし、次代を

担う子どもの健やかな成熟過程の支援の探究に精進してまいります。また、本学の教育に貢献できるように頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。



たかはし かず と
高橋 和人

○所属・職名：内科学(2)分野 講師
○就任年月日：2023年7月1日
○出身高校：大阪府立北野高等学校
○出身大学：福井大学
○就任前の職名：内科学(2)分野 助教
○趣味・特技：ドライブ

2023年7月1日付で内科学(2)分野(消化器内科)講師を拝命致しました。2008年に内科学(2)分野に入局し精進してまいりました。現在消化器内科で主に担当する上部消化管分野では、ヘリコバクター・ピロリ感染率の低下に伴

い、胃癌や胃潰瘍は減少し、逆流性食道炎や食道胃接合部癌(バレット腺癌)が増加するなど対象疾患に大きな変化が見られます。この変化に対応した診療・教育を行い、また研究においても生かしていきたいと考えています。今後と

もご指導の程よろしくお願い致します。



ないとう たつ し
内藤 達志

○所属・職名：内科学(2)分野 講師
○就任年月日：2023年7月1日
○出身高校：敦賀気比高等学校
○出身大学：福井大学医学部医学科
○就任前の職名：内科学(2)分野 助教
○趣味・特技：映画鑑賞

2023年7月1日付で内科学(2)分野・講師を拝命しました。2006年に医師としての経歴を開始し、これまで消化器内科分野での研鑽を積んでまいりました。ここ最近、臨床においては主に下部消化管領域を担当し、大腸癌に対

する内視鏡治療や、近年増加している炎症性腸疾患の診療に携わっております。医師になった頃と比べ、現在の低侵襲治療、小腸内視鏡などの内視鏡手技や内科的診断、治療法は大きく変化しています。今後も進歩してゆく医学におい

て、基礎・臨床の最新の知見を患者さんや社会に還元していきたいと思います。診療・研究・教育の領域で職責を果たすべく精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



たかはし づ こ
高原志津子

○所属・職名：医学研究支援センター 特命講師
○就任年月日：2023年9月1日
○出身高校：國學院高等学校(東京都)
○出身大学：金沢大学(大学院)
○就任前の職名：金沢大学附属病院 先端医療開発センター 特任助教
○趣味・特技：ZUMBA(インストラクター)、フラメンコ、バイク(大型二輪有)、ねこ

2023年9月1日付で特命講師を拝命しました高原と申します。高校まで東京で暮らし、それから京都に移り住み、金沢そして福井へと、どんどん緑の割合と一軒家の敷地面積が大きくなっています。人間ゆとりが大切なので、良い傾向

だと思っています(笑)。

製薬企業で治験データ関連業務を担当して以来、治験や臨床研究のデータを扱ってきました。製薬企業は給料が良いものの面白みに欠け、アカデミアの臨床研究の面白さにはまり現在に至ってい

ます。美味しい料理は素材が命のように、良い臨床研究はデータが命です。ぜひ計画段階からご相談ください。そのうち会議室でZUMBAをやろうかと企んでいます。どちらもお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学生支援体制について >>> 学修と生活の両方をサポートします

《医学科学生支援システム》

① 学年主任と助言教員制度

学年毎に、その学年での教育科目を受け持つ教員の中から学年主任と助言教員を割り振り、皆さんの「相談窓口」となり、主に修学面についてサポートします。遠慮無く声をかけて下さい。

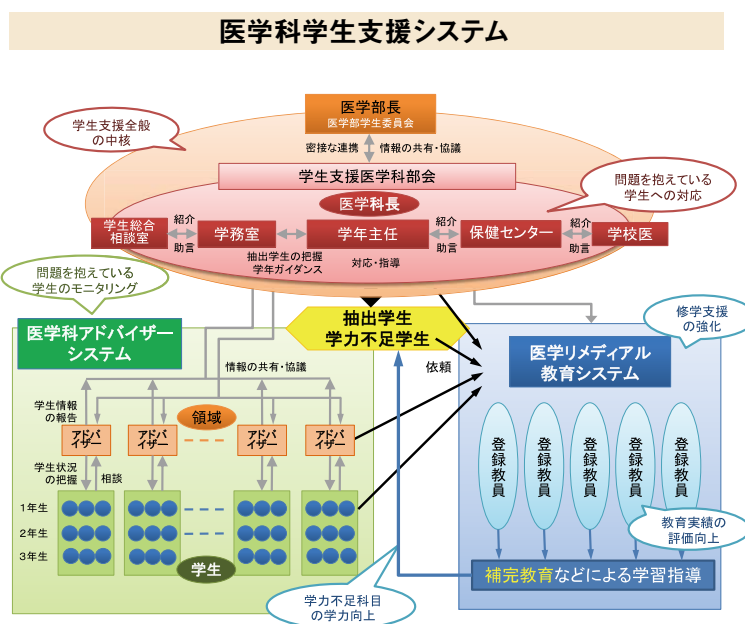
② アドバイザー制度

(1～4年次生)

医学科の主任教員（主に教授）が、学生数人で構成された小グループのアドバイザー教員となり、1年次生から4年次生までを一貫してサポートする仕組みです。アドバイザー教員は各学年の学年主任と助言教員と連携しながら、修学面のみならず、生活面についても対応します。

(5・6年次生)

特に修学面で不安を抱えた学生さんを、医師国家試験合格に向けて手厚く支援する仕組みです。別名「国試サポート」とも呼ばれています。



〈医学科〉

学年	学 年 主 任	助 言 教 員
1 年	ふじ た りょうすけ 藤田 亮介 (医療統計学)	いいの さとし 飯野 哲 (解剖学)
2 年	やま だ まさみ 山田 雅己 (分子生体情報学)	さだ きよなお 定 清直 (ゲノム科学・微生物学)
3 年	あお き こうじ 青木 耕史 (薬理学)	こばやし もとひろ 小林 基弘 (腫瘍病理学)
4 年	やまうち たかひろ 山内 高弘 (内科学1)	は せ がわ みのもる 長谷川 稔 (皮膚科学)
5 年	いしづか たもつ 石塚 全 (内科学3)	なかもと やすなり 中本 安成 (内科学2)
6 年	まつみね あきひこ 松峯 昭彦 (整形外科学)	ご い たかのり 五井 孝憲 (外科学1)

医学への旅立ちにあたって

医学科1年 学年主任 藤田 亮介

今、皆さんは壮大な医学への旅のスタートラインに立っています。旅立ちにあたり、心掛けて欲しいことは、試行錯誤しながら努力し続ける姿勢と常に自分を俯瞰できるバランス感覚です。今はネット情報が溢れ、いつでもどこでも誰でも必要な情報が入手可能です。このような状況では、方法論よりも行動力が大事で、その行動量を担保するのは自己管理能力です。規則正しい生活はその基盤となるでしょう。どうすればよいのか、自分にマッチしたベストな方法は何かを常に考えましょう。いわば独自の、オリジナルな学び方です。同時に自己ケアもお忘れなく。医学生活においては、充実感とともに、時折厳しい瞬間もあります。気分転換し、ストレスを上手く処理することも大事です。

どうか、失敗を恐れず、困難に立ち向かって下さい。医学は挑戦と向き合うことで成り立っています。一步一步着実に進んでいけば、きっと素晴らしい医師になることができるでしょう。新たな一歩を踏み出す皆さんに、未来に向けての素晴らしい冒険と成長を心より祈っています。頑張ってください。

医学図書館へようこそ♪



医学図書館は、講義棟正面入口向かいの建物です。
皆さんの医学図書館は建物だけではなくインターネット上に広がる「図書館という学習環境」です。
使い方一つで世界中の情報を手にすることができます。時間は卒業までの数年間。
是非使いこんでください。

主な特徴

- 24時間開館
- Wi-Fi 利用可（総合情報基盤センターでの申請要）
- 入館ゲートは学生証でタッチ即入館
- グループ学習に使える情報工房・グループラボ
- 患者さんや一般の方も利用可能
- 自動貸出返却装置で24時間貸出返却可能

医学図書館は、利用者の皆さんの学習・教育・研究をバックアップするため、様々なサービスを提供しています。
ご質問等ありましたら、下記へメール、もしくは平日の17時までに電話または直接カウンターへいらしてください。

milib-sv@ml.u-fukui.ac.jp 0776-61-8258 内線2177

使えるぞ！図書館ホームページ

福井大学図書館 検索

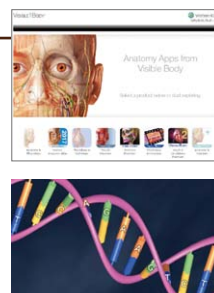
図書館のホームページは、本のありかを調べるだけでなく、インターネット上で利用できる様々なサービスの窓口です。

便利な『マイライブラリ』は本の予約や他の図書館からの本の取り寄せ、購入希望リクエストなどをどこからでも申し込むことができます。



電子ブック

インターネット上で読める教科書・参考書。
誰かが借りてるから使えない！ってお悩みがないんです。ダウンロードもできるのでゆっくり勉強できます。動画もあるので細胞の動きなど理解が深まります。
英語多読にはMaruzen ebook libraryのMacmillanシリーズがあります。



電子ジャーナル

インターネット上で読める雑誌。
世界の研究にいち早く触れることができます。

まずはNew England Journal of Medicineのようなレビュー誌を読んで英語で医学の世界へ踏み出しましょう。



データベース

情報を探するためのツール。

日本語の学術情報 医中誌WebやJDreamIII
外国語の学術情報 PubMedやWeb of Science

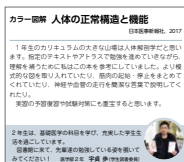
今話題のキーワードで検索してみましょう。



図書委員Webミーティング

図書館の運営に参加できる学生図書委員。

お薦め本紹介やブックハンティング（選書）などあなたの参加をお待ちしています。



GakuNin (学認)

デジタルコンテンツ（インターネット上で使える資料）を自宅や外出先から使う魔法の呪文（ちゃんとしたサービスです）。自宅や外出先から各サービスにアクセスする際には、皆さんの統一認証IDでログインしましょう。



医学図書館 MAP

開館時間	授業期間	8・9月
月～金	9:00～20:00	
土・日・休日	10:00～17:00	休館

貸出冊数	貸出期間
10 冊	1 週間

24時間利用には特別利用申請が必要です。図書館ホームページから申請してください。

正面玄関

平成22年に改装した玄関はブルーの壁面に白い階段が交差するヨーロッパアン装い。ようこそ医学図書館へ。

ラウンジ

勉強に疲れたらラウンジでほっと一息。おしゃべりもできる。新着図書やミニ展示、留学コーナーなど気になるコーナーを見つけよう。季節のイベントも開催しているので参加してね。

コピー室

コピー料金
モノクロ 10円/枚
カラー 50円/枚

新着雑誌コーナー

今年分の雑誌が並び。必要な資料があればカウンター前のコインコピー機を利用しよう。一般教養雑誌 (Newtonやオレンジページなど) は借りることもできる。

英語論文作成支援コーナー

英語論文作成に役立つ辞書ソフトや図書を利用できる。予約制なのでカウンターに問い合わせよう。

メディアルーム

パソコンを自由に使える。DVD視聴やTV授業の受講にはヘッドフォンを使用して利用しよう。

雑誌閲覧室

自由に座って勉強できる。広めの机は大型の医学書を開いても余裕。

心とからだの本コーナー

医学図書館を利用する患者さんや一般の方に向けて心やからだに関する本がある。もちろん皆さんも利用OK。

視聴覚資料コーナー

医学に関するDVDやビデオがある。

情報工房・グループラボ

心理学、社会学、数学、小説など一般教養図書が並び。岩波文庫・岩波新書・講談社ブルーバックス

1F

正面玄関 → ラウンジ 展示コーナー → コピー室 → 集密書架 → 新着雑誌コーナー → 雑誌閲覧室 → 英語論文作成支援コーナー → メディアルーム → 雑誌閲覧室 → 心とからだの本コーナー → 視聴覚資料コーナー → 情報工房・グループラボ

2F

集密書架 → 図書閲覧室1 → 図書閲覧室2 → 図書閲覧室3 → 新書・文庫コーナー → 国試対策コーナー → USMLEコーナー → 診療ガイドライン・癌取り扱い規約コーナー

館内どこでも無線LAN使用可能です。
(手続きは総合情報基盤センターへ)

館内に設置してあるPCでインターネットに接続する場合もご自身の学内無線LAN接続にてご利用ください。

図書閲覧室1

アメリカ医学図書館分類に従って、医学の専門図書が並び。閲覧席は大きな医学書を数冊並べても平気な広いスペースを持ち、いつでも自由に閲覧・勉強できる。

USMLEコーナー

アメリカの医師国家試験用問題集がある。将来海外で働くことも目標の一つに入れては？学生同士の勉強グループもあるので参加してみるのもよい。

国試対策コーナー

医師、看護師、保健師、助産師の国試対策問題集の過去5年分がある。6年後・4年後を目指して今から覗いてみよう。

新着情報をゲットしてね！

@u_fukui_medlib

皆さんの学習環境を守るためのお約束

館内では、本を汚したり、臭いが他の利用者の迷惑になったりすることを防ぐため、蓋付きの容器に入っている飲料のみ持ち込み可能としており、「飲んだらしまう」を合言葉に水分補給を行っていただいています。

飲食する場合は、講義棟1階コミュニケーションスペースをご利用下さい。

グローバル人材育成研究センターのご案内 >>>

平成23年4月の設置以来、実践的な語学教育に注力してきた語学センターは、令和6年4月に設置されるグローバル・エンゲージメント推進本部の附属施設「グローバル人材育成研究センター」に生まれ変わります。

グローバル人材育成研究センターでは、実践的語学力に加え、世界に通用する専門能力とグローバル・スキル、国際的に活躍するために必要なリーダーシップを備えた人材の輩出を目指しています。この目標達成のため、言語開発センター通称「LDC (Language Development Center)」を運営しており、松岡キャンパスの医学図書館1階に整備されています。

実践的語学力を身に着けるには授業に加え、コミュニケーション実践も含めた継続的な外国語の自己学習が必要と考えられています。LDCの整備によりすべての学生に対して十分な語学学習教

材及び環境を提供できるようになっています。

LDCは自律的語学学習の場として、グローバル演習室やメディカルイングリッシュ演習室の他、SAC (Self-Access Center) には、個人学習演習室を有しており、4技能・語彙・発音・コミュニケーション力と幅広いスキル向上に対応した設備や教材を備えています。周囲を気にせず発音練習をしたり、複数人でコミュニケーションを実践したり、個人学習からグループ学習まで様々な学習形態を実現できます。

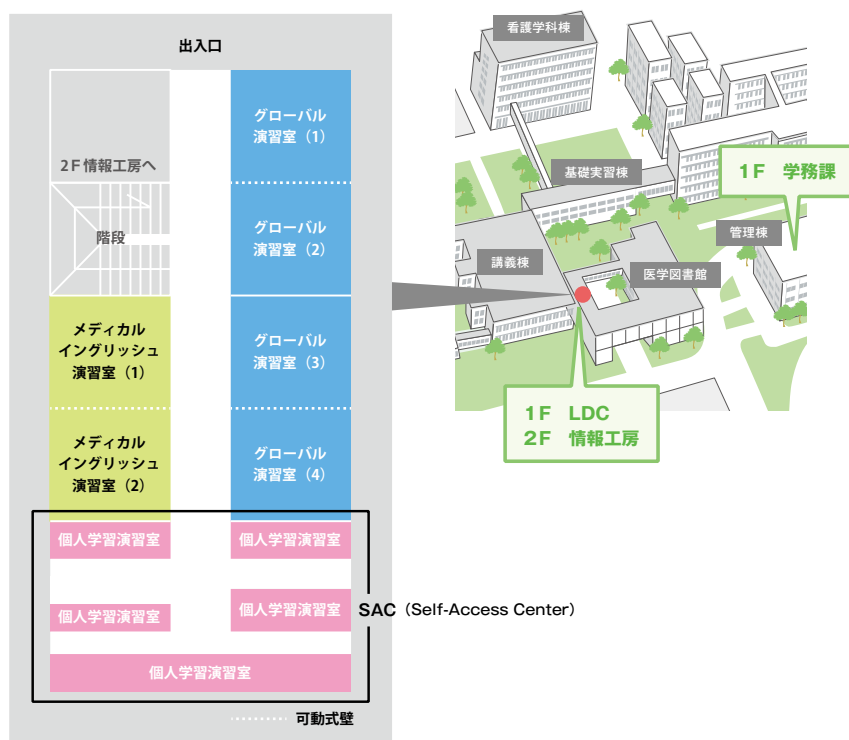


また、SACでは外国語書籍や外国医療ドラマ等のDVDを配架しています。レベル別・分野別の外国語書籍をそろえているので語学力と興味に応じたリーディングが可能です。DVD視聴を通じてリスニング能力のみならず会話で使用するイディオムや語彙力の向上が期待できます。

さらに、グローバル人材育成研究センターでは、地域人材のグローバル化対応の支援を目指しています。本学学生および地域人材からグローバル人材を育成・輩出することで、地域全体のグローバル化を推進していきます。



LDC配置図



DVDステーション

SACでは、語学学習に役立つ多数のDVDやブルーレイディスクを視聴できます。海外医療ドラマや実際の医療現場で使える英会話講座のDVDなどが揃っています。

読書スペース

SACでは、graded readers (レベル別多読用教材) やTOEIC・TOEFL対策の教材が揃っており、自由に閲覧できます。

この他、医学図書館2階にも外国語書籍があり、特に医療系の書籍が充実しています。ビギナー向けの英会話本から世界で活躍したい方向けのUSMLE (米国医師国家試験) 対策本まで幅広いレベル別・目的別の本を取り揃えています。

LDC設備紹介

○ メディカルイングリッシュ演習室 (全2室)

医療現場に必要な臨床英語やコミュニケーション能力を高めるため、「臨床英語に接する機会の充実」を目的に、診察用ベッドや診察机などを設置し病院診療室を再現した部屋となっています。社会に出て実際に遭遇する医学英語の環境をシミュレーションできます。



○ グローバル演習室 (全4室)

英会話のグループレッスンやディスカッション、プレゼンテーションの練習が可能です。実際のコミュニケーションに近い状況で外国語の実践力を高めることができます。

また、演習室1と2、3と4の中間仕切りを移動することで、2部屋分の広さで使用することもできます。メディカルイングリッシュ演習室の演習状況を大型スクリーンで映し出し、同時に多くの人数で実践的医療現場の学習をすることも可能です。



SACの紹介

Self-Access Center (SAC) は、学生が英語を自主的に学習するために整備されています。

400本以上のDVDをそろえ、個人学習演習室では、遮音設備の整った25のブースでDVDを見ることや、集中して自習することもできます。

DVDは、話題になっている海外の映画・ドラマに限らず、ドキュメンタリーや、ディズニー・ジブリのアニメもたくさんあります。ジブリアニメを英語で見てみませんか？見たことがない海外ドラマにはまってみませんか？映画を見ながら単語・文法をチェックすることで、英語の学習になります。映画を楽しみながら、英語の単語が増えていきます。ぜひ試してみてください。

さらに、医学英語や、USMLE、TOEIC、TOEFL等の語学試験対策を含めて150

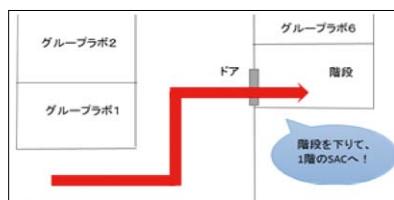
冊以上の教材を用意しています。自分の好きなように英語のリーディング・リスニング等が練習できます。

SACの教材・DVD等をぜひ試し、自分に合っている勉強方法とペースを見つけてください。

開館の時間は平日17:00～19:50です。(詳しくは図書館・学内で貼っているスケジュールをチェックしてください)

SACに詳しい学生スタッフ (Student Coordinator) が待っています！

「Join us! 気軽にお立ち寄りください!」



○ 個人学習演習室 (全25室)

各部屋にパソコンを備えた遮音室となっており、マイク付ヘッドホンによりスピーキングを録音して、発音やイントネーションを確認することができます。外国語の総合力の向上、検定試験対策、スピーキング能力やリスニング能力の向上に役立ちます。



福井大学学生ポータルと提出書類について >>>

福井大学学生ポータルは、インターネットを通じて、履修登録や時間割、休講等の各種情報確認ができる教務情報システムです。インターネットに接続されたパソコンであれば、学内外を問わず各自のアカウントでログインできます。

本システムを通じて各種情報提供を行いますので、**電話番号やメールアドレス等の学籍情報は、常に最新のものを登録しておきましょう。**

また、学生生活を送る上で必要な諸願・届出書類の一部を紹介します。このほかにも、成績証明書や健康診断証明書が必要なときに提出する「証明書交付願」、体育館など学内の施設を利用する際の「課外活動施設使用願」などの提出書類があります。詳細は学生便覧等をご確認ください。事前の申請が必要で交付等に一週間程度かかる場合もありますので、必要な時や詳しく知りたいときは、学務課に来てください。

以下の書類は事務手続きや危機管理等のため、必ず提出してください。

書 類 名	こんな時に提出してください	事前申請
欠 席 届	講義を欠席したとき。 ※長期にわたる欠席の場合は診断書、忌引きの場合は案内状などの添付が必要です。	
追 ・ 再 試 験 願	追試、再試を受けたいとき。	要
学 外 実 習 依 頼 書 交 付 願	学外の病院見学や実習に行きたいとき。	要
入 構 許 可 申 請 書	学内の駐車場を利用したいとき（2km以上）。	要
通 学 証 明 書 交 付 願	通学定期券を購入したいとき。	要
事 故 報 告 書	学内外で事故を起こしたとき（交通事故など）。	
海 外 渡 航 届	留学や語学研修、旅行などで海外へ行くとき。	要
課 外 活 動 用 具 借 用 申 請 書	クーラーボックスやBBQセットなどを借りたいとき。	要
トレーニングルーム利用許可申請書	トレーニングルームを利用したいとき。	要

医学部生として知っておくべきこと >>>

大学生は、高校生までと比べると自由裁量が格段に増えます。その一方、その代償として、思わぬトラブルや重大事起こし、その責任が問われたり、資格の取得に問題が生じる可能性もあります。

医学部生は、将来、医師や看護師等を目指す者として一般社会から高い倫理観が求められるので、社会のルールを守り、節度をもって学生生活を過ごして下さい。

罰金以上の刑に処せられた場合は、法律により国家試験に合格しても免許が得られなかったり、免許の交付が遅れる場合があります。

例) 医 師 法 (抜粋)

第四条 次の各号のいずれかに該当する者には、免許を与えないことがある。

- 一 心身の障害により医師の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 二 麻薬、大麻又はあへんの中毒者
- 三 罰金以上の刑に処せられた者
- 四 前号に該当する者を除くほか、医事に関し犯罪又は不正の行為のあつた者

- ・ 交通事故
- ・ 交通違反
- ・ 20歳未満の飲酒
- ・ 男女間のトラブル
(ストーカー、強姦罪)
- ・ 喧嘩(暴行罪、傷害罪)
- ・ 薬物の使用
- ・ 不適切なSNSの発信
- ・ 金銭上のトラブル
等



松岡キャンパス 保健センターのご案内 >>>

体調不良、お困りごとなどは、我慢せず、遠慮せず、保健センターにご相談ください。

(管理棟1階学務課前)

対応可能時間(症状確認、紹介状発行) 平日8:30～17:00

TEL 0776-61-8575 Mail: m-hoken@ml.u-fukui.ac.jp



《体調不良のとき》

附属病院を受診したい

- ・診察受付は月～金の8:30～11:00です。(平日午後、土日、祝日は診察時間外です)
- ・予約制となっており、また診療科によって診察する医師が決まっていますので、基本的に当日は受診できません。
- ・注意…初めて附属病院を受診するとき、または前回の診察から6か月以上受診がない場合は、紹介状が必要です。紹介状を持参しない場合は、初診料のほかに選定療養費(¥7,700)がかかります。

本日 医療機関を受診したい

- ・体調不良時は、無理に登校せず、自宅から保健センターに電話してください。永平寺在宅訪問診療所または近隣の医療機関を紹介します。
- ・産婦人科、皮膚科、耳鼻科、整形外科、眼科等の専門外来の予約は、保健センターで調整しますのでご相談ください。
- ・自家用車がなく近隣の医療機関を受診できない場合は、附属病院を紹介しますが、当日は受診できないこともあります。ご了承ください。

※切り傷、すり傷などの消毒や湿布など、受診が不要な場合は、保健センターで処置します。

《急なケガで救急部を受診したいとき》

- ・時間外(平日午後、休日、夜間)にも診察をしてくれますが、体育中や部活動中にケガをしたときなど、あくまで急病の時のみ紹介します。救急部の医師が総合的に診てくれますが、基本的に内服処方1日分です。専門的な治療が必要な時は、当日もしくは翌日に他科やクリニックを紹介してくれます。
- ・注意…診察代金のほかに時間外料金、22時～翌6時までは深夜料金が加算されます。
- ・部活や体育授業中の事故の場合は、加入している保険の手続きが必要な場合があります。保健センターにお知らせください。

《実験、実習中のケガのとき》

- ・実験中のけが、実習中に針刺しをした場合は、担当教員に連絡したのち、すみやかに保健センターにご報告ください。追加で検査や病院を受診することがあります。

《学校医に相談したい、カウンセリングを受けたいとき》

- ・眠れない、集中力がない、やる気がない、食欲が落ちた、生理不順、体がだるい、おなかが痛い…病院受診までは必要ないけど医師に相談したい、カウンセラーに話を聞いてもらいたい…等は保健センターにご相談下さい。学校医またはカウンセラーと調整し、相談へつなぎます。
- ・学校医は、内科一般、整形外科、歯科、産婦人科、精神科の医師です。カウンセラーは2名（男性、女性）です。
- ・注意…相談なので費用はかかりませんが、レントゲン撮影、血液検査、内服薬の処方はできません。相談の結果、検査や投薬治療が必要な場合は医療機関を紹介されることがあります。

《大学に提出する診断書が欲しいとき》

- ・試験を欠席する場合や、長期に授業を欠席する場合は、診断書を提出する必要があります。かかりつけ医がない場合は、保健センターから永平寺診療所や近隣の医療機関を紹介し、診断書を依頼します。ただし、証明できるのは受診した日からです。先週おなかが痛かった、発熱していたなど、日を遡って記入することはできません。
- ・注意…診察代のほかに、文書証明料発行のための料金がかかります。

《健康診断証明書が欲しいとき》

- ・病院見学や就職試験のため、医療機関から健康診断証明書の提出を求められる場合があります。
- ・定期健康診断書（身長・体重、血圧、胸部レントゲン）は学務課前の自動発行機で出力・受け取りができます。（受診していない場合は発行できません）
- ・特別健康診断証明書（麻疹風疹、HBワクチン抗体価、ワクチン接種歴）が必要な場合は保健センターに直接お越しください。発行までに3～5日かかる場合がありますので、余裕をもってお申込みください。



健康相談とカウンセリング >>> from 保健センター

身体的な悩みや異常について気になる時や、学生生活における不安や悩みがある時は、学校医、カウンセラー、看護師による健康相談やカウンセリング等を利用してください。

健康相談（内科医師）



ねごろ えいじゅ
根来 英樹



えんどう よしのり
遠藤 芳徳



たなか たかあき
田中 太晶

健康相談（産婦人科医師）



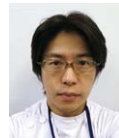
たまむら ちよ
玉村 千代

健康相談（精神科医師）



うえの かんじ
上野 幹二

健康相談（歯科口腔外科医師）



よしむら ひとし
吉村 仁志

カウンセリング（臨床心理士）



くりた ともみ
栗田 智未
相談日／月曜日～金曜日
9時～17時30分

健康相談（看護師）



なかじま みか
中嶋 美佳
相談日／月曜日～金曜日
9時～17時

※医師に相談を希望される方は、予め保健センター内事務室（電話0776-61-8575）まで申し出て下さい。
※カウンセリングは、なるべく電話予約（電話0776-61-8567）をしてください。
※相談内容については、秘密を厳守いたします。

手洗い、できていますか?? >>> from 保健センター

【洗い残しがありませんか?】



【時間をかけて丁寧に洗いましょう!!】



【手指消毒を習慣づけましょう!!】

- ★アルコール消毒剤は濡れた手に使用すると効果が落ちてしまいます。
手の水分をきちんと拭いてから使用しましょう。
- ★アルコール消毒剤は乾く際に消毒効果が発揮されます。
使用した際は乾燥するまでしっかりと手に擦り込みましょう。

- ★ジェルタイプは1プッシュだと足りないこともあります。
手全体に十分にいきわたる量を使いましょう。
- ★手を拭く際も気を付けてください。濡れたタオルは思っている以上に菌が繁殖しています。
ハンカチ、タオルはこまめに替える、もしくは使い捨てのペーパータオルを使うのがよいでしょう。



令和6年度 学生定期健康診断等日程表 >>>

from 保健センター

日 程	検査項目等	対 象 者
4月15日(月) 4月23日(火) (※詳しい時間は決まり次第 お知らせします)	全学生定期健康診断 ●身長・体重測定 ●血圧測定 ●胸部X線撮影 ●尿検査 ●視力測定	全学生 医：6年生、看：4年生
5月～12月 (※詳しい日時は決まり次第 お知らせします)	B型肝炎血液検査及び HBワクチン接種 ① ワクチン接種前血液検査 ② 1回目HBワクチン接種 ③ 2回目HBワクチン接種 ④ 3回目HBワクチン接種 ⑤ ワクチン修了後、抗体血液検査	医：3年生 看：2年生
4月～6月	B・C型肝炎、血液検査(一般)	医：1年、学士編入生 看：1年生
5月	メンタルヘルス検査	医・看：1年生
11月 (※詳しい日時は決まり次第 お知らせします)	インフルエンザワクチン接種	医：3、4、5、6年生 看：2、3年助産学専攻生 院：希望者

※「医」は医学科、「看」は看護学科、「院」は大学院を示す。

注 意

各健診の受検については、学生メールや掲示板等でお知らせします。

掲示する日程表の全課程は、日時を守る必要があり、途中で受け忘れると無効となりますので注意してください。

※日程変更は出来ませんので、日時を厳守のうえ受けてください。

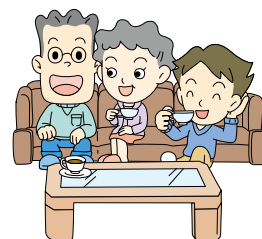
こころの健康について、考えてみませんか >>>

from 保健センター

保健管理センター(松岡地区保健センター) 臨床心理士・公認心理師・大学カウンセラー **栗田 智未**
kurita@u-fukui.ac.jp (TEL:0776-61-8567)

〔大学生の課題〕

著名な発達心理学者E. H. Ericsonによれば、青年期の心理発達課題は、「自分というアイデンティティの基盤をしっかりと固めようとする」ということ。大人へと変化を遂げていく準備をするとても重要な時期です。自分とはいったい何者かという問いを通して自分自身を形成していくのですが、困難な課題に立ち向かうこの時期は一時的に精神的に不安定になることも多く、多岐にわたる悩みを抱えることになります。



〔こころの乱れは生活の乱れ〕

大学生活には様々な新しい体験があります。例えば、一人暮らし。大学生活は、起きる・食べる・身の回りのことを自分でしなければなりません。そして、授業、部活、バイト、友達関係…、めまぐるしい日常の連続です。睡眠不足や偏った食習慣、多忙な生活が続けば、『やる気が出ない、イライラする、周囲の目が気になる』などの不適応状態に陥ります。心の健康は、日常的な普通の生活習慣を維持することから始まります。



〔医学部生はタフ!?!〕

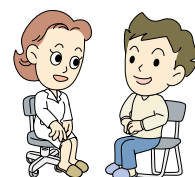
ある調査研究で「医療者は精神的に健康だと自認する人が多い」という報告があります。「自分はタフだ」という思い込みや「弱音を吐いてはいけない」という価値観は向上心に繋がります。しかし、自分をタフだと思っている人ほど周囲に弱みを見せるのを嫌い、自分だけで対処しようと頑張っかえって大きく破綻してしまう場合があります。自分一人で解決できるものもあれば、誰か他の人と相談しないと難しいこともあります。必要な時に他の人を信頼し相談する強さ、頼れるような柔軟さも獲得していきましょう。



〔保健センター カウンセリング室へ〕

学生生活において直面する様々な悩みや問題について、専門的な立場から秘密厳守で相談にのります。人間関係や自分の性格といった悩み、学業や進路に関する悩み、不眠や食欲不振などの身体的な悩みなど、困ったことがあったら相談に来てください。皆さんが想像している以上に、多くの学生が気軽にカウンセリング室へ来ています。

カウンセリングでは、相談者の困っていることや希望を聞き、問題を整理することによって、相談者が自分なりの解決法を得やすいように支援します。その他にも、相談者の希望に応じて、専門的な情報を伝える、関係者の間に入って環境を調整する、適切な人物や機関を紹介するなどします。友達や家族が困っているという場合も利用できます。まずは気軽にドアをノックしてくださいね。



学生総合相談室のご案内 >>>

学生総合相談室は、学生の皆さんの毎日の生活が充実したものになるように、相談（カウンセリング）などの支援を提供しています。

また、「障がいのある学生及び教職員のための相談室」も併設しております。身体的な病気になった時、日常生活や大学生活に支障を感じるような時も、お気軽にご相談ください。

具体的な相談内容やカウンセラーの紹介はホームページをご覧ください。



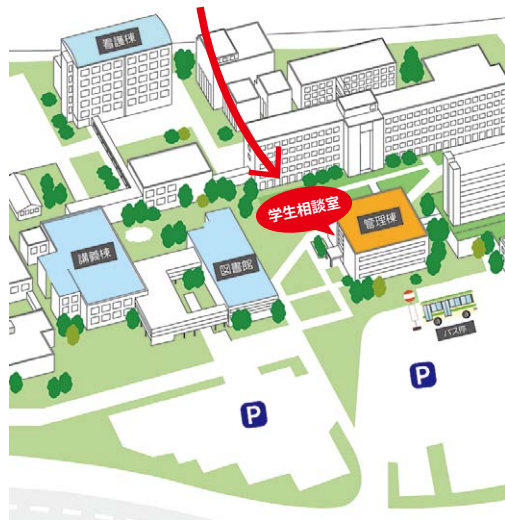
相談のヒントや相談室の最新情報などを配信しています。ぜひ一度ご覧ください。

←相談室 HP

<http://soudan.ad.u-fukui.ac.jp/>



相談室はここです！



大学発行のGoogleアカウントでログインの上、予約



予約ページ

オンライン予約ページ

管理棟の正面玄関を入ってすぐ左手、学務課と保健管理センターのあいだにあります。

開室時間 / 月～金 9:00～17:30
E-mail / mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp
電話 / 0776-61-8802

相談の内容については、
秘密を守ります。

キャンパス・ハラスメント防止のために >>>

— しない・させない・見逃さない

ハラスメントのないキャンパスに —

ハラスメントを受けた と感じたら…

悩みをかかえこまずに相談員に声を届けてください。
相談したことで、あなたが不利益を被ることは決してありません。

ハラスメントを目撃したら…

当事者間の個人的な問題として見過ごさず、助けてあげましょう！目撃したあなたが相談に来ることもできます。

ハラスメントと認定されたら…

福井大学はハラスメントを許しません
ハラスメントの内容によっては、加害者は懲戒の対象となります。

社会に存在する様々なハラスメントのうち 大学において発生する可能性のあるハラスメント

○アルコール・ハラスメント

飲酒に絡む嫌がらせや迷惑行為全般を指します。

○セクシュアル・ハラスメント

身体的な接触、性的暴力あるいは性的ジョークなどで、相手に不快感を与える性的な言動を指します。同性間でも発生することがあります。

○パワー・ハラスメント

教職員が職務上の権限を用いて、不適切で不当な言動を行い、他の教職員に対して行う職場における嫌がらせ行為などを指します。学生同士の場合、先輩・後輩の間で発生することがあります。

○アカデミック・ハラスメント

指導教員等がその権力を用いて、不適切で不当な言動を行い、学生や教員に対して行う教育・研究上のいやがらせ行為などを指します。

いつでも相談してください

福井大学

保健センター・学生総合相談室

栗田 智末 前川 伸晃

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電 話／0776-61-8567（栗田）

0776-61-8802（前川）

E-mail／mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp

電話・Eメール・手紙・直接訪問するなど、あなたの一番いいかたちで相談してください。あなたの相談があなたの許可無く記録・報告されることは決してありません。**秘密は厳守します。**

福井大学医学部

～愛と医術で人と社会を健やかに～

【作成】福井大学学務部松岡キャンパス学務課

イッキ飲み、しない!させない!社会のルール >>>

from 保健センター

4月は新入生を迎え、歓迎会・合コンなどの飲み会が増える時期かと思います。お酒は、飲み方次第で楽しいものになります。しかし、盛り上がるとついつい限度も考えず一気に早飲みし、血中のアルコール濃度が急上昇した結果、急性アルコール中毒、ひどい場合には死者が出ることもあります。

また、お酒に慣れていない人だけでなく、「飲める方だ」と思っている人も、それを過信して大量に摂取し救急車で運ばれる人は後をたちません。

特に歓迎会などを主催する学生は、下記の注意点を参考に、自覚と責任ある行動をとりましょう。

アルコール・ハラスメント = 飲酒に関連した嫌がらせや迷惑行為、人権侵害を指す。

1. 飲酒の強要

上下関係・部の伝統・集団によるはやしたて・罰ゲームなどといった形で心理的な圧力をかけ、飲まざるをえない状況に追い込むことです。

2. イッキ飲ませ

場を盛り上げるために、イッキ飲みや早飲み競争などをさせることです。「イッキ飲み」とは一息で飲み干すことで、早飲みも「イッキ」と同じです。

3. 意図的な酔いつぶし

酔いつぶすことを意図して、飲み会を行うことで、傷害行為にもあたります。ひどいケースでは吐くための袋やバケツ、「つぶれ部屋」を用意していることもあります。

4. 飲めない人への配慮を欠くこと

本人の体質や意向を無視して飲酒をすすめる、宴会に酒類以外の飲み物を用意しない、飲めないことをからかったり侮辱する、などです。

5. 酔ったうえでの迷惑行為

酔ってからむこと、悪ふざけ、暴言・暴力、セクハラ、その他のひんしゆく行為です。

引用：特定非営利活動法人ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）

【命を救う4回のチャンス】

チャンス1：イッキはさせない

チャンス2：酔いつぶれた人を絶対1人にしない

チャンス3：横向きで自然に吐かせる（誤飲予防）

チャンス4：おかしいと思ったら、ためらわず救急車を

（引用：特定非営利活動法人ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）



令和5年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 >>>

福井大学では、学業成績の優秀者や、課外活動及び社会貢献活動において特に優秀な成績や功績をおさめたと認められる学生に対して、表彰を行っています。令和5年度は、下記の学生が表彰されました。

《学長表彰》

医学科／	いまい みく 今井 未来	医学科において学業成績が特に優秀であったため
看護学科／	やまもと りん 山本 凜	看護学科において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科修士課程／	もり きりつこ 森木 律子	医学系研究科修士課程において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科博士課程／	さいとう きょうこ 斎藤 杏子	国内外の学会等で特に高く評価される研究業績を上げたため

《医学部 優秀学生表彰》

医学科／	いまい みく 今井 未来
	おおはし しゅうへい 大橋 周平
	よしだ あやか 吉田 彩花
看護学科／	やまもと りん 山本 凜
	ふかがわ ななみ 深川 七海
	かわかみ さやか 川上 紗也加



左から 今井さん、吉田さん、大橋さん



左から 山本さん、深川さん、川上さん

令和5年度卒業生からの寄贈品 >>>

今年度卒業生から、以下の寄贈をいただきました。ありがとうございました。大切に活用させていただきます。

医学科6年次生

- 一、シュレッダー 1台…臨床大講義室前に設置
- 一、福井大学基金 高度専門職業人育成・研究支援事業へのご寄附



看護学科4年次生

- 一、〈病気がみえる〉消化器vol.1 他領域別に各1冊
計10冊 …医学図書館に寄贈



本学医学部とベトナム国立皮膚疾患病院との学術交流協定を締結しました

皮膚科学 教授 は せ がわ 長谷川 みのる 稔

この度、2023年11月23日に藤枝重治医学部長、国際交流担当の定清直教授、増田様をはじめとする国際課のご尽力により、ベトナム国立皮膚疾患病院（NATIONAL HOSPITAL OF DERMATOLOGY AND VENEREOLOGY）と福井大学医学部との間で、学術交流協定を締結することができました。

ベトナム国立皮膚疾患病院は、首都ハノイに立地し、ベトナム各地から皮膚疾患の患者を多く受け入れるベトナムを代表する皮膚疾患の病院で、診療だけでなく研究にも力を入れています。同院の病院長であるLe Huu Doanh先生は、以前に日本に留学されて基礎研究をしていましたが、その留学先で当時私が働いておりましたので、それ以来交流があります。

2013年に私は福井大学に赴任しましたが、当時は教室員が少なく臨床をこなすのが精一杯で、大学院生が基礎研究をできる状況にありませんでした。そこで、Le先生に相談したところ、同じハノイ医科大学を卒業した優秀な若手皮膚科医であるVu Huy Luong先生を大学院生として派遣してくださいました。教室の研究環境が整っていない中、Vu先生は頑張って研究を続け、国際学会でプレナリー発表に選ばれたり、2編の筆頭論文、2編の共著論文を発表し、本学部最優秀論文賞にも選出されました。その後も、Tran Hau Thach Lam先生を大学院生として

受け入れたり、2023年5月に国際会議を東京で私が会頭として開催した際にはLe先生、Vu先生など5名の病院の先生が参加してくださったりなどの交流が続いています。そして、2023年度の海外研修プログラムで本学部3年生の宮田恭之介君がハノイで研修した時にもVu先生らと交流が持たれるなどの中で、施設間で協定を結ぼうという話に発展していきましました。本学で藤枝医学部長の署名が行われた後、2023年11月24、25日にLe先生が会頭の学会がベトナムで開催され、私も招待講演の機会をいただきました。その前日に学会場で協定書署名の式典が催さ

れ、Le先生をはじめとするベトナム国立皮膚疾患病院の主要メンバーとお会いすることができました。

本学部の代表として署名された藤枝医学部長からは、「本学から同院へ、同院から本学へと人の行き来を活発にして、日越共同研究を加速していきたい」とのお言葉がございました。ベトナム国立皮膚疾患病院は豊富な臨床症例と優秀な医師を数多く有しており、当教室としても、学生、医師、研究者の積極的な交流を深め、互いの臨床や研究の発展につなげていきたいと思います。



図1：本学側署名後の記念撮影。藤枝医学部長（右）と私



図2：ベトナム国立皮膚疾患病院側署名後の記念撮影。前列右がLe病院長、左が私。後列の左端がVu先生、左から2番目が前病院長であるTran先生の父親。



図3：Vu先生が当教室に留学中にLe先生が来日され、恐竜博物館に案内した時の写真。



図4：東京の国際学会にLe病院長、Vu先生が来日された際の写真。

令和5年度 海外研修プログラム ベトナム研修について

みやた きょうの すけ
医学科3年 宮田 恭之介

強烈な1週間でした。

活動初日は英語で日本の医療についてベトナム人医学生にプレゼンテーションをしました。私は日本の国民皆保険について説明しました。ハノイ医科大学の医学生はプレゼン中でも質問が飛び交うほど積極的で、ベトナムと日本の保険制度の違いを議論しました。ある学生から「日本の保険証がマイナンバーカードに統合されることにより生じるトラブルには何があるか」と質問を受けた時は、日本に対する関心の高さに驚きました。

翌日はハノイ医科大学の救急の臨床現場を見学しました。私にとっては人生初の臨床見学でした。大学病院ということもあり救急科は多くの人で溢れていました。ハノイ医科大学では看護師によるトリアージが行われていました。とにかく患者さんが多く、ベッドの間の距離も1m程でし

た。日本との違いを実感しました。

別日には本学の長谷川稔先生との関係が深いLuong先生にご挨拶に行きました。ご挨拶後はNational Hospital of DermatologyのレジデントであるBiu先生にハノイの観光地を案内して頂きました。ホアンキエム湖やNgoc Son Temple、ホアロー刑務所を見学しました。その後Luong先生と再び合流し、有名なフォーやコーヒーをご馳走になりました。Luong先生が福井大学に留学されていた時の話を伺い交流を深めました。厚遇して頂き、非常に感謝しております。

後日National Hospital of Dermatologyへ伺い、実際の皮膚科の臨床現場を見学させて頂きました。Luong先生や若手のTùng先生に説明頂きました。Keloidやacneなど知っている疾患もあれば、Becker naevus、Syringomaなど初めて知った疾患もありました。どの症例も実際見せて

くださり、具体的に説明して頂きました。皮膚科の臨床医学については日本で予習をして行ったのですが、分からないことも多かった。この経験からさらに臨床医学を勉強したいという気持ちが強まりました。

このプログラムを通じてたくさんの刺激と今後の学習に対するモチベーションを得られました。今後の糧として自己研鑽に励みたいと思います。



Hawaii Tokai International College 留学について

やまぎし はる き
医学科5年 山岸 治輝

私は将来的に英語圏に移住したいという思いがあり、来年の海外臨床実習に向けた準備として今回のプログラムに参加させていただきました。

プログラムの目標は、英語による患者の問診と症例報告を身につけることでした。授業は朝から晩まであり、problem based learning に準じて能動的に行われました。授業で正しい型を学んだあとに、現地の学生と様々な症例を用いてロールプレイングによる練習をしました。実際に現地で働かされている医師からフィードバックを受けて、修正を繰り返すことで最終的に形

にすることができました。

また、今回のプログラムに参加していたメンバーは皆海外志望であり、将来の具体的なビジョンが明確でとても感銘を受けました。休み時間にはビーチに行ったり、お洒落なカフェでハワイ料理を食べたりと充実した時間を過ごすことができました。

来年はアメリカ合衆国とオーストラリアの病院でそれぞれ1ヶ月ずつ実習をさせていただく予定です。今回学んだ知識を大いに活かせるように引き続き頑張ります。



国際事業化可能性調査プログラムについて

もりぐち ほ なみ
看護学科2年 守口 穂波

初めまして！私は福井大学医学部看護学科2年の守口穂波です。

私は、2023年8月31日から9月21日に福井大学の国際事業化可能性調査プログラムでチャンカセム・ラチャバット大学(タイ)に行き、短期留学をしてきました。

私がこのプログラムに参加しようと思ったきっかけは、2023年の2月に同じ大学のプログラムに参加し、かけがいのない大切な仲間と貴重な体験をさせて頂きました。そこでの体験が楽しすぎてまた参加したい!と思っていたところ、再び開催されると聞きすぐに応募しました。この留学の中では、様々な体験ができます。主には、タイで日本産業、文化の海外展開についてチームでテーマを設定し、調査活動と発表を行います。

他にも、現地での日本企業の視察やタイの文化授業、現地大学生との交流を楽しむことができます。

この体験で一番に残っていることは、タイ人学生とチームを組んで行った仮説検証発表です。タイの学生とは日本語が完璧に通じるわけではなく、どのように伝えれば相手に伝わるのかとても悩みました。しかし、コミュニケーションは、言語だけではなく、表情や身振り手振りで通じることがに気が付き、見事最終発表では、1位を頂きました。

この経験は私が臨床で看護師として働く中でも役に立つことであると考えます。例えば、耳の聞こえない人には、笑顔で接することで、表情を通して自分の気持ちを伝えることができます。こ

のようにこのプログラムでは、コミュニケーションを学ぶこともできますが、他にも様々なことを学ぶことができます。これを読んでいる方も是非、このプログラムに参加してみてください！



タイでの調査活動の最終発表にて、グループ発表で1位を獲得しました。

※参加当時の学年です

医学部附属病院だより >>> 学部学生に向けた情報を紹介します

福井大学初期臨床研修医及び 看護師借上宿舎の完成

利便性に優れた快適な居住環境の提供により、令和4年10月より建設を進めておりました借上宿舎が令和5年3月に完成しました。名称をCourt F Re（コートエフレ）とし、令和5年4月より入居を開始しています。家賃は月2万円で、差額を病院が負担します。福井大学医学部附属病院まで徒歩30秒程度、駐車スペースもあります。また宿舎の周辺には、スーパーマーケットやドラッグストアなどが近くにあり、大変住みやすい環境となっています。



駐車場や屋外倉庫
も完備

外観

室内は陽当たりもよく
設備が充実
サンルーム（左手）が
ありとても便利



室内

「Under 40club」を立ち上げ、 気軽に相談できる体制づくり

臨床教育研修センターでは令和5年度から学内説明会やセンターHPのリニューアル、医療手技のレクチャー、診療科紹介ポスターの掲示など、当院の魅力を知ってもらう場を提供しています。

その中で特に注目したいのが「医学生、研修医、若手上級医が活発にコミュニケーションを取ることができる場」として誕生した「Under 40 club」です。

医学生の皆さんが望んでいる「各診療科の内容（臨床・研究・教育など）」を知る機会、先輩医師と接する機会を増やせればと考えています。診療参加型臨床研修だけでなく「日々のちょっとした心配事を口にできる関係性」を築けるよう、「Under 40 club」では今後いろいろと企画していきます。

1月19日には、「Under 40 club」を中心に、医学科5年生を対象としたランチョンセミナーを開催しました。今後も継続して開催しますので、皆さんからの要望もお持ちしています。



学内説明会 リアルを知ろう—国試対策から
臨床まで—

医学生に対して 「国試対策から進路決定に向けて」の 学内説明会実施

令和5年度から医学科6年生対象に「国試対策から進路決定に向けて」と題して、プレゼンテーションイベントを実施しています。国試対策や当院の初期臨床研修プログラムの特徴をはじめ、診療科ごとに業績や得意とする治療・研究などの当院の魅力を紹介し、併せて今後必要となる専門研修の紹介も行っています。また、初期臨床研修2年目の研修医から、当院の研修内容について医学生目線でのプレゼンテーションがあり、生の声を学生に届けています。このように当院の特徴を知ってもらうことで、働くイメージを思い浮かべてもらい、将来像をイメージするきっかけ作りになればと思います。



スーパードクターになるための
初期臨床研修ダイジェストを
配布
初期・専門研修を含む診療科
の魅力を紹介



国家試験に向けて合格祈願のお守りを
渡して激励

医学生に対して 診療科・教室における臨床・研究・教育に ついての紹介ポスターの掲示

医学生、特に1年次生から4年次生の間、附属病院の医師と接する機会が少ないことから、各診療科・教室がどのような治療・研究・教育などをおこなっているのか、医学部生に知ってもらい、ひいては当院を研修先・入局先として希望者が増加することを願い、医学部生に向けたポスターの掲示を始めました。

掲示場所は、臨床大講義室（2F）、講義棟1F、講義棟2F、コミュニティールーム、附属病院B棟7階の学習スペース、臨床教育研修センターの6カ所で、1カ所に4～5枚ほど掲示し、各掲示場所を約2カ月でローテーションし、多くの学生さんの目に触れるようになっています。また改訂はいつでも可能で、最新の診療科の情報を掲示しています。

部活動・サークル紹介

男子硬式テニス部 >>>>

男子硬式テニス部では、西医体優勝、王座一部昇格を目標に、週3回(火・木・土)、一日3時間のペースで活動しています。これらチーム全体の目標を意識しつつ、個々の目標の達成に向け、少ない時間でも集中して練習しています。コートが9面あり、公式練習がない日でも自主練が思う存分にできます。また、練習では先輩から必ずアドバイスを頂くため日々上達できます。医学部だけの活動ということもあり、少人数での活動ですがその分先輩との距離が近くアットホームな雰囲気が魅力的です。勉強面では、福井は冬に雪が降るのでオフシーズンと活動時のメリハリがあり、冬の試験が忙しい時期などは勉強に集中することができます。普段は男女別々で活動していますが、肝試し、ミックスダブルス、晩祭などのイベントでは男女一緒に活動しています。初心者もたくさんいて、テニスが好きな方ならだれでも大歓迎です。気になる方はぜひ試打会や練習に来てください。



女子硬式テニス部 >>>>

こんにちは、女子硬式テニス部です！私たちは松岡キャンパステニスコートで週3回練習をしています。練習の時はしっかりと練習に励み、終われば部員全員でふざけあったりメリハリのついた部活です。正直言って、とても楽しい部活です！

テニス経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！部員の中でも初心者が半数を占めています！

イベントは男子部と一緒にいきます。部内 MIX ダブルス大会のあとはみんなで海に行き、BBQ！3月にはみんなでユニバにも行きます。他にも肝試しやハロウィンなどイベントは盛りだくさん！

女子硬式テニス部の魅力はメリハリのついた部活であることと、先輩後輩関係なく、とてつもなく仲が良いところです！くずりゅうを見て興味を持ってくださった方は、是非1度遊びに来て見てくださいね！部員一同お待ちしております。

ソフトテニス部 >>>>

こんにちは！福井大学医学部ソフトテニス部です。私たちは火・木・土の週3で大学横のテニスコートで練習しています。部員は約80人とトップクラスの多さです！大会は主に、5月、7月、8月、11月にありどれも盛り上がる大会です。7、11月に行われる東海大会では、看護学科と共に同じ大会に臨めるので、部員同士の絆をより深めることが出来ます。1年で最も規模の大きい大会が8月にある西医体です。これは西日本の医学科の大学が集まる大会になります。男子は約400ペア、女子は約200ペアも出場します。これほどの規模の大会を経験したことのある人はいないのではないのでしょうか？大盛り上がるの大会で見ているだけでも楽しいです！この大会では先輩たちとの仲を深める絶好の機会で、普段関われない学年との絡みは刺激的で非常に楽しいです。ぜひ、ソフトテニス部におこしください！

卓球部 >>>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。卓球部です！

現在、部員は医学科看護科合わせて約40人で、毎週火、金、土の週3回活動しています。参加は強制ではないので、試験前に勉強を優先することも可能です。気軽に卓球したい人から、バリバリ練習したい人まで様々な部員がいます。卓球は大学はじめてという人でも、先輩が丁寧に楽しく教えてくれるので安心してください！

大会は、6月の北4(北陸の4大学で行う大会)、8月の西医体、3月の西医歯薬(西日本の医薬系の学生が集まる大会)などに参加しています。他県に遠征しての試合があるときは、みんなで観光したりおいしいものを食べたりと楽しいことがたくさんあります。また、部活外でもスノーボードやボードゲーム、釣りなどイベントが盛りだくさんです。

皆さんも卓球部に入って大学生活をより楽しいものにしませんか？入部お待ちしております！



剣道部 >>>

こんにちは！私たちは火、木、土の週3日、福井県立大学剣道部と合同で活動しています。大学や男女、先輩後輩の垣根がなく、とても仲の良い部活です。稽古は2時間で集中して取り組み、それ以外では部飯やバーベキュー、観光などを楽しんでいます。

試験前の休みの融通も利き、イベントなどの参加も自由なので、自分自身に合わせた活動をすることができます。

経験者はもちろん、初心者、マネージャー大歓迎です！大学の剣道部はそれぞれが目的を持って活動しており、小中高の部活とは雰囲気が違ってとても楽しいですよ！

新品の防具の貸し出しをしているので、初心者や防具を捨ててしまった方でも大丈夫！部員の中には、大学から剣道を始めた人や小学生、中学生以来の人、剣道のことを全く知らなかったマネージャーもいます。剣道は数居が高いイメージかもしれませんが、実は運動神経の良し悪しに左右されにくく、大人になってから始める人も多い競技です。始める時期、ブランク、関係ありません！私たちがサポートするので一歩踏み出してみませんか？

剣道部一同、皆さんをお待ちしております！！

バドミントン部 >>>

こんにちは！バドミントン部です！月水土の週3回、松岡キャンパスの医大体育館でわいわい練習やっています。なんとバド部は松岡キャンパス最大規模の人数を誇る部活です。人数が多いからこそ、高校は文化部でスポーツなんかしたことない！みたいな状態からバドミントン始める人からインターハイ出場者までレベルは様々。いろんなレベルの人がいるので誰が入っても楽しめる部活です。先輩も優しく、初心者始めの人が7割くらいなので全く経験なくても大丈夫です。練習だけでなく大会や交流戦もあって他の大学とも交流できます。さらにバド部はイベントも多いです！夏には海に行ったりBBQやったり、遠足もあってUSJに行ったりすることもあります。イベントがたくさんあるのでとりあえず入っておけばきっと楽しい大学生活になりますよ～！興味がある人は気軽に遊びに来てください！



男子バスケットボール部 >>>

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。男子バスケットボール部はプレイヤー28人、マネージャー12人で活動しています。週に3回（月、水、土）に活動しており、西医体で優勝することを目標として日々練習に励んでいます。プレイヤーは経験者が多いですが、大学から始めた人も多く、経験者に混じり試合で活躍しています。

また男子バスケ部では、バスケット以外にもBBQや忘年会、追いコンなどさまざまなイベントがあり、また練習試合や大会の遠征先では観光もしています。新歓でもさまざまなイベントをしているので楽しみにしておいてください！

私たちは真剣に練習しているからこそ、チームとしての絆が強い部活だと思います。上下間もとても仲が良く、チーム全員が意見しやすい雰囲気を目指しています。

プレイヤー、マネージャー共に医学科看護科問わず募集しておりますのでぜひ一度、気軽に遊びに来てください！



女子バスケットボール部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

私たち、女子バスケットボール部は、プレイヤー12人、マネージャー1名の計13人で活動しています。みんなで楽しく、笑顔でバスケットをすることをモットーに、経験者、初心者関係なく、部員全員で頑張っている部活です。大会で勝つことができるように、日々の練習や他校と練習試合をしながら、スキルアップを目指しています。

女子バスケ部は、バスケットだけでなく、いちご狩りやBBQ、大会後の観光、忘年会や追いコンなどたくさんのイベントがあり、どれも全力で楽しんでいます。キャンパスライフの輝かしい思い出になること間違いなし！皆さん、ぜひ女子バスケットボール部へ！

女子バスケットボール部一同、心よりお待ちしております。



準硬式野球部 >>>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ここでは、私たちの活動についてご紹介させていただきます。

準硬式野球部は、プレイヤー29人、マネージャー15人で毎週火・木・土の週3回活動しています。大きな大会は北信越の全学が集う春季、秋季大会、そして8月の西日本医科学学生総合体育大会（西医体）の3つであり、これらに照準を合わせて日々練習しています。

冬の期間は週2回の練習となり、テストの多い期間にはオフシーズンも設けています。そのため勉強との両立が可能で、バイトや趣味に打ち込むこともできます。

また、練習や試合には全力で取り組みつつ、海水浴や球技大会、BBQ、スノボなどのイベントも盛んで、晩祭への参加も積極的です。メリハリのある雰囲気です。非常に楽しい部活だと思います。ぜひ一度練習に遊びに来てください！



伝統空手道部 >>>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

伝統空手道部は現在12名が所属し、月・水・土の週3日で活動しています。“伝統空手”と聞くと堅苦しく感じるかもしれませんが、それは気のせいです。というのも部員の大半は大学から空手を始めた初心者なため、誰でも気軽に始めることができます。さらに空手は個人競技なので、バイト・車校・試験など学業優先で活動できます。伝統空手には組手と形の2つの種目がありますが、どちらでもor両方でも、そこはご自由どうぞ。黒帯を取りたい、試合に出場したい、いやいや、とにかく運動したい！など部員達は様々な理由で練習に励んでいます。XやInstagramに練習中の写真や動画があるので、ぜひチェックしてみてください。武道場でお待ちしています！

[X] @fukuimed_karate 【Instagram】 fukuimed.karate



柔道部 >>>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ 柔道部です！

柔道部は毎週火曜日、木曜日、土曜日の3日間、場所は武道場にて稽古をしています。部員数は6名ほどですが、そのためにアットホームな雰囲気であり、先輩とも分け隔てなく和気藹々と楽しく稽古することができます！ 柔道と聞くと“怖い”などのイメージがあったりと思いますが、実際はそうでもなく、女子部員や大学から柔道を始めた人もいますので、経験者や未経験者を問わずに、興味があればぜひ見に来てください！ また、先輩後輩の仲がよいために、部活動だけでなく勉強においても親身になって相談に乗ってくれたり、テストの前にはしっかりと部活動の休みをもらえたりと、勉強面でも無理なく部活動を続けることができます。男女・経験問わず、少しでも柔道に興味を持ってもらえたらと思います！ 気軽に見学や遊びに来てください！ 部員一同心よりお待ちしております！！

ラグビー部 >>>>

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待や不安を感じている事と思います。福井大学医学部ではさまざまな部活やサークルが活動しています。部活やサークルに所属することで先輩後輩含め交友関係が生まれ、勉強だけでなくこういった活動に打ち込む事でより楽しく充実した学生生活を送ることができます。この場を借りてラグビー部についての紹介をさせていただきたいと思います。

ラグビー部は現在37人で活動しており、部員のほとんどは大学からの初心者です。練習は基本、火・木・土の週3回行っています。夏には西医体という大きな大会があり優勝を目指し、日々励んでいます。試験の多い冬場にはオフ期間もあり、勉強の負担にもならず進級間違いなしです。ラグビー部は部活以外にも夏には海へ行ったり、バーベキューをしたりと楽しいイベントも特徴です。2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップでは日本中が大熱狂の渦に巻き込まれ、ラグビーブームが沸き起こりました。その活躍ぶりは皆さんの耳にも入ったのではないのでしょうか。そしてついに今年はワールドカップがフランスで開催されます。今、日本で最もアツいスポーツであるラグビーに、プレイヤー・マネージャーとして一緒に触れてみませんか？ 興味があってもなくても新入生の方は気軽にぜひ一度遊びに来てください！

男子バレーボール部 >>>

こんにちは! 男子バレーボール部です! バレーボールは、テレビの試合中継や漫画、アニメの影響で人気沸騰中の今とてもアツいスポーツです。そのいちばんの魅力は、チーム全員が「自分たちのコート内にはボールを落とさせない」という意志を共有し、1つのボールを必死に追いかけて仲間につないでいくこと。一人一人の強い意志は、観客をも巻き込んで会場全体を熱く盛り上げていきます。この一体感を一度経験してしまえば、その虜になること間違いなしです! 私たちは、昨年度夏に行われた西医大で優勝し、西医大連覇を目標に掲げ日々練習に励んでいます。プレーヤーの半分以上が大学からバレーボールを始めた初心者ですが、試合では経験者に見劣りしないほど活躍しています。大学で新しいスポーツを始めたいという初心者の方も大歓迎! アツい仲間が欲しい! スポーツで結果を残したい! イベントで楽しく盛り上がりたい! あなたの想いを叶えられる男子バレー部へぜひ! プレーヤーはもちろん、マネージャーも大募集中です!!



女子バレーボール部 >>>

新入生の皆さん、こんにちは! 女子バレーボール部です!

私たちは火・木・土の週3回、医大体育館や外部の体育館で練習をしています。女子だけなのでみんなのびのびと、わいわい楽しく練習しています! 経験者だけでなく、大学からバレーボールを始めた部員や、大学からスポーツを始めた部員も多く活躍しています!! 大会でより良い成績を残すことを目指して全員で意見を出し合いながら日々の練習に励んでいます。勉強が大変な時でも部活に行ってみると練習することがとても良いリフレッシュになっています!

バレーボールに興味のある方! 勉強も頑張りたいけど運動もしたい方! わいわい楽しく部活に参加したい方! ぜひ一度女子バレーボール部に遊びに来てください! マネージャーも大募集しています!! 新歓で皆さんに会えるのを部員一同楽しみにしています!

[X] @fukuimedvolley 【Instagram】fukuimedvolley



サッカー部 >>>

皆さん初めまして、福井大学医学部サッカー部です! 私たちは現在プレーヤー22名、マネージャー11名の計33名で、西医体優勝を目標に掲げ、火・木・土の週3日間活動しています。練習メニューは自分たちで考え、真面目に一生懸命取り組んでいます。大変で辛い時もありますが、それを乗り越えたときの達成感や楽しさはひとしおです! 今シーズンはコロナの影響もあり、中止になった大会もありますが、ここからは対戦成績について紹介します。今シーズンは東海医歯薬大会準優勝、昨シーズンは北陸4校戦優勝、近畿医歯薬大会3位、東海医歯薬大会3位、天皇杯3回戦進出となっています。また、私たちの部活は先輩後輩の仲も良く、部活以外にも海やBBQ、スノボなどの活動もしています。経験者、未経験者ともに大歓迎です! 少しでも興味ある方は遊びに来て下さい! 個性豊かな部員がお待ちしております! XやInstagramなどでも活動内容を報告しているので、そちらもよろしければご覧ください!

陸上競技部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます!!!

我々陸上部は週に3回、火・木・土曜日に活動しています。この陸上部の最大の特徴は、なんといっても競技ブロックとジョグブロックに分かれて活動していること!

競技ブロックは皆さんが陸上部と聞いて想像するような活動をしています。短距離と長距離に分かれて練習しており、初心者から経験者、果ては全国大会を目指すような人まで、いろいろな人が自分の目標に向かって頑張っています。

ジョグブロックはその名の通り、学校の周りや公園をゆっくりと走るという活動が中心です! 走るのが好きだけどゆるくやりたい人、運動不足を解消したい人、兼部したい人など、こちらも色々な人が所属しています。

競技ブロックのマネージャーも大募集です!!!

日々の活動は競技、ジョグで別ですが、バーベキューやマラソン大会など様々なイベントと一緒に楽しくやっています。是非一度陸上部に遊びにきてね^^



競技スキー部 >>>

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！こんにちは、競技スキー部です。競技スキー部では4月～11月はオフシーズンでゆるく楽しくインラインスケートや陸上トレーニングを行い、12月にシーズンインし、3月までは休日をメインにコーチや他大学のチームメイトとともにスキーの練習をしています。競技スキーにはアルペン部門とクロスカントリー部門があります。

アルペンスキーは斜面に立てられた旗門に沿って滑り降りてそのタイムを競うスポーツで、早く滑り降りる爽快感は格別です！クロスカントリースキーは平地を進んだり、急な坂を登ったり、多様なコースを駆け抜け、そのスピードを競うスポーツです。

競技スキー部の魅力は文京キャンパスの部員や富山大学、金沢大学の方々と一緒に合宿をするため、他大学との交流が盛んなところです。初心者から始めた部員は他大学にも多く西医体での好成績を目指して全部で30～40人が集まって合宿を行うので毎日楽しく、充実した練習ができます！

せっかく雪国の大学に入学したからには一緒にスキーをしませんか？みなさんと一緒に部活動ができる日を部員一同楽しみにしています！

水泳部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

水泳部の活動は火金の週2回、メインの大会である西医体と西コメに向けて練習をしています。水泳部ではありますが泳ぐだけではありません！月1で球技をしたり、冬にはみんなでスキーやスノボをしに行ったりもしています！

水泳部の一番の魅力は部活の雰囲気が良いところです。1～6年生まで部員全員がとても仲良しなので、楽しい雰囲気で練習を頑張ることができます！個人的には練習の合間にみんなでわちゃわちゃしゃべっている時間がすごく楽しいです。

楽しそうだけど泳げない…という方も大丈夫です！先輩方が優しく、楽しく泳ぎ方をおしえてくれます！部員の半数以上は初心者ですが、なぜかみんな夏ごろには泳げるようになっていきます。不思議ですよ！

初心者から経験者まで大歓迎です！ぜひ水泳部に遊びに来てください！部員一同お待ちしております！



ゴルフ部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ゴルフ部ではほとんどの学生が大学からゴルフを始めており、各々が自分のペースでゴルフを楽しんでいます。ゴルフクラブの握り方から、ラウンドマナーまで、優しい先輩達が教えてくれます！

普段の活動では毎週月曜日・水曜日に打ちっぱなし場で練習し、休みの日に希望者でラウンドに行っています。夏は西医体、秋は部内コンペや晩祭など、イベントも沢山あります。

ラウンドでは春夏秋冬それぞれの自然を大いに楽しむことができます。勉強の合間のリフレッシュにもぴったりです！広大なゴルフ場でナイスショットを決める瞬間は最高です！

大会に出てバリバリゴルフをしたい人、自然の中で楽しく運動したい人など、ゴルフに少しでも興味がある人は大歓迎です！新歓では打ちっぱなしを体験してもらえます。ぜひ一度ゴルフ部に遊びに来てください。部員一同お待ちしております！



弓道部 >>>

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！福井大学医学部弓道部は医学科21人（男子8人/女子13人）と看護科1人（女子1人）で活動しています。活動場所は松岡キャンパス敷地内にある弓道場で、火曜、木曜、土曜の週3回練習をしています。弓道部の1番の魅力は学年分け隔てなく仲の良いところです！弓道と聞くと「上下関係が厳しそう…」といったイメージを持つ方も多いと思いますが、普段の練習では先輩後輩関係なく互いに指導し合い和気あいあいと弓道に取り組んでいます。そんな弓道部ですが、何と大学から弓道を始めた部員が8割以上で、今まで運動経験がなかった人でもと〜っても始めやすいですよ！少しでも興味があればぜひ一度見学に来て下さいね。最後に、弓道はひたすらに自分と向き合い、自分と戦っていく武道です。一生に一度の大学生活、私たちと一緒に未知なる自分を「探弓」してみませんか。



ハンドボール部 >>>

こんにちは！ハンドボールというスポーツをご存じでしょうか？名前は聞いたことがあっても、具体的にどんな競技なのか知っている方はあまり多くないと思います。ハンドボールは攻守の切り換えが速く、激しい接触プレイがあり、また高度な戦術も要求されるカッコいいスポーツです！ハンドボール部では西医体優勝を目標に、プレイヤー、マネージャーが一丸となって日々熱心に練習に取り組んでいます。練習だけでなく、夏には海に行ったり、クリスマスにはパーティーをしたりと年中行事・季節のイベントにも力を入れていて部員全員で楽しんでいます！部員のほとんどが未経験から始める人で、練習の頑張り次第で誰でも試合に出ることができます！ハンドボール部に入って、私たちと一緒に大学生活をさらに楽しいものにしましょう！新歓で皆さんに会えるのを部員一同楽しみにしています！



フットサルサークル >>>

こんにちはフットサルサークルです。フットサルサークルは月に2・3回、外部の体育館を借りて活動をしています。初心者から経験者まで様々な学年が集まり、ワイワイ楽しくゲームをしています。時間が余ったときにはPK合戦などを楽しんでいます。今年はコロナウイルスの影響であまり活動できていませんが、来年度は様子を見つつ再開出来るように願っています。また、大会などにも出られたらいいと考えています。部活に入っている人も多いため、いろんな部活の方と交流することもできますし、様々な部活の方から話を聞くことが出来るのが良い点だと思います。活動は強制ではなく、予定の空いているメンバーが集まっていますので、ぜひ、興味のある方はお時間のある時に参加してみてください。お待ちしております。

ダンスサークルRAMSY >>>

私たちRAMSYは2017年に発足したダンスサークルです。経験、性別を問わずダンスに興味がある人が集まり、学祭と新歓ライブの年2回の発表を目標に頑張っています。現在やっているジャンルはK-POP、ブレイク、HIPHOPなどで、各自が興味のあるジャンルを自由にいくつでも練習するという形式でやっています。RAMSYはサークルなので別の部活との兼部や勉強との両立も可能です。部員の多くが兼部しています。練習は毎週金曜日の午後7時から9時までで、発表前はそれぞれのグループで自主練をして仕上げていきます。部員の大半が大学からダンスを始めているので、初心者でも気軽に参加できますし、学年関係なくアドバイスし合いながら進めていくアットホームなサークルです。実際にどんなダンスをしているか気になった方は、YouTubeで「RAMSY 福井大学」と検索したり、Instagramの投稿を見たりしてもらえば、過去の学祭や新歓ライブの動画が出てくるので、ぜひ1度ご覧ください。少しでも興味のある人は気軽に練習に来てくれると嬉しいです！

[Instagram] ramsy_fukui.dance



軽音部 M-ROCK >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは、福井大学医学部の軽音部「M-ROCK」です。

M-ROCKの主な活動内容は、個人およびバンド単位で日々の練習をし、ライブに向けて研鑽を重ね、部内または外部の人に向けて、その成果を発表するというものです。

軽音部と聞くと、敷居が高いと言いますが、なんだか初心者が入りづらかったり、お金がかかると言った、マイナスイメージを持たれている方も少なくないとおもいます。しかし、M-ROCKは違います。初心者の人には、同じバンドや同じ楽器の先輩たちが優しく教えてくれるため、今まで楽器を全く触ったことのない人でも楽しんで活動していただけます。また、経験者の人がその実力を発揮できる場も設けられているため、個人個人が自分の好きなペースで活動できる部活でもあります。さらに、現在の部員の男女比および医学科看護科の人数比は、どちらもおよそ1:1であるため、本当にどなたでも入部していただける部活であると自負しております。

練習はバンドごとに日程を決めて行いますので、バイトや他部活との両立もしやすくなっています。部活動全体としては、毎週水曜日の全体ミーティングがあり、連絡事項の伝達やライブの出演バンドの募集が行われます。また、BBQや海水浴、さらにはUSJへ行くなど、季節ごとのイベントも用意されています。

そして、日頃の練習の成果を発揮する場とも言えるライブは、夏と冬の部内ライブに加えて、学祭ライブや学校外のライブハウスで行われるもの、さらに招待を受けて他大学で行うこともあります。特にライブハウスと他大学でのライブは、普段はあまり交流のない外部の人の演奏を聴くことによって、多くのことを学べる機会でもあります。

新入生の皆さん、新たに始まる大学生活を、M-ROCKとともに過ごしてみませんか。入部お待ちしております。



美術部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！美術部について紹介します。

美術部では部員一人一人が作りたいものを制作しています。絵だけでなく、過去には裁縫やレザークラフト、アコースティックギターを制作する先輩方もいました。また、レジンクラフトやフェルト作品を作る部員もいます。

部室には画材や美術関係の書籍、UVレジン液やUVライトなど、作品制作のための道具が置いてあります。部室は作業をするスペースとしても作品や道具を置くスペースとしても活用できます。秋に開催される暁祭では作品の発表や展示を行います。

皆さん思い思いの制作を楽しんで自分のしたいことを追求しています。

部室は福利棟1階です。自分の都合のいい時間に活動できるため兼部もしやすいです。時間的拘束がほとんどないため、思い思いに創作活動をしたい方にピッタリです。

興味のある方はお気軽に部室にお越しください。Instagramをはじめたのでよかったですら見ていってください。

【Instagram】fukuimed_art_club



茶道部 >>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます！医学部茶道部です。現在は約15名で活動していて、毎週水曜日の17時から裏千家の先生をお招きして、福利棟1階の和室で茶道のお稽古に励んでいます。また、学生茶会、芸交祭、全国学生大茶会、一般の茶会、暁祭など、県内、県外のお茶会に積極的に参加してお茶席を設けており、他大の茶道部の学生や、茶道をしている社会人との関わりも多くあります。新しく何かを始めたい人、お抹茶とお菓子が好きな人、茶道を通して日本の伝統文化や礼儀作法を学びたい人など、少しでも茶道部に興味のある方は一度体験にお越し下さい。初心者大歓迎です。お抹茶と和菓子を用意してお待ちしています。



管弦楽団 >>>

こんにちは！福井大学医学部管弦楽団です。例年40人程度で、医大生と福井県立大学の学生合同で活動しています。メンバーは経験者から初心者まで幅広く、和気あいあいと合奏を楽しんでいます。主な活動内容は、年に一度の定期演奏会（2024年は4月28日に第38回定期演奏会があります。ぜひお越しください！）、公民館・幼稚園・福祉施設などでの依頼演奏、団員でアンサンブルを組んで発表し合う団内発表会、北陸三県と新潟の管弦楽団と合同で2日間に渡って交流する芸交祭、暁祭、合宿など盛りだくさんです。学校楽器の貸し出しもあり、初心者も経験者も大歓迎です！楽器を演奏してみたい、誰かと合奏をしたいと思ったら、ぜひ管弦楽団へ！

【活動日・活動場所】火曜日 18:10～21:00 土曜日 14:00～18:00・福利棟2階部室

【X】@kangen_medfukui 【Instagram】kangengakudan



熱帯医学研究会 >>>

こんにちは。熱帯医学研究会です。新入生の皆さんご入学おめでとうございます！

当サークルはタイのチェンマイ大学医学部と交流し、よりボーダレスな世界での熱帯医学、国際協力の重要性を学ぶサークルです。週や月の定期的な活動はありませんが毎年12月に日本に訪れるチェンマイ大学の学生と交流します。附属病院を案内したり、福井県内を観光します。また希望する人は9月にタイのチェンマイへ行ってチェンマイ大学の附属病院でタイの医療を学ぶことができます。学生さんに市内を観光案内してもらえらる機会もあります。

コロナの影響で活動が難しくなっていますが、興味のある方はぜひ来てください！

文藝・漫画研究会 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。福井大学医学部文藝漫画研究会です。一般的に漫研と呼ばれるサークルで、漫画やゲームといった、いわゆるサブカルチャー的な娯楽が好きな人が集まっています。

ほとんどの部員は他の部活と兼部していて、週2回ある活動日も参加は自由という、なんとも緩いサークルとなっています。また、活動と言っても何かを練習したりするわけではなく、基本的には部室での交流がメインです。部室には漫画が大量に置いてあるので、漫画を読みに来るだけの人もいたりします。

数少ない活動らしい活動は、部誌の制作です。年に4回ほど有志が作成した漫画やイラスト、小説などを集めて本にし、学祭といった学内でのイベントや、コミックマーケット等の即売会で配布します。イベントが開催されれば、の話にはなりますが…。

もし、これを読んで興味湧いたなら、ぜひ部室に来て実際の雰囲気を味わってください。お待ちしております。

HISTRIP >>>

私たちのサークル名である「HISTRIP」とはHISTORYとTRIPを掛けたもので、その名の通り、歴史的な名所を中心に巡っています。訪れる場所や日時はサークルメンバーで話し合って決めており、活動の内容はとて自由です。これまでは、お城を巡ったり、若狭塗の体験に行ったり、海を見にカフェに行ったりしています。メンバーには歴史にめちゃくちゃ詳しい人もいれば、そんなに歴史には詳しくないけど旅行好きだから！と参加している人もいます。例年であれば年に4回ほど活動をしているのですが、最近では状況に応じてオンラインで集まって座談会のような形式でも活動しています。サークルの特性上、なかなか思うように活動できずにいるのですが、常に新しい形で活動をしていこうと思っています。新入生の皆さんといろいろ楽しく活動できるのを心待ちにしています！



救急医療サークルALFA >>>

私たち救急医療サークルALFAでは、主に救急ワークショップというものを通じて活動を行っています。

救急ワークショップ(以下、WS)という言葉は聞き馴染みがないかもしれませんが、簡単に説明すると「体を動かして、楽しく学ぼう!」というものです。

私たちALFAが主催することもあるほか、他大学が開くWSに参加することもあります。具体的には、皆さんも一度は聞いたことがある、胸骨圧迫やAED、そして医療ドラマなどで見かける気管挿管やショックなどをシミュレーターを使って行えます。このWSは北は北海道から南は沖縄まで全国の医療系学生と共に活動しており、特に金沢大学と富山大学とは同じ北陸地域として結束も強く、盛んに交流しています。昨年度からコロナによる規制も緩和され対面でのWSも全国各地で復活し多くの部員が参加しました。

部員のほとんどが兼部をしており、参加も自由です。医療家ならではの救急医療サークルALFAの活動をぜひ一度体験してみませんか。



劇団くらげ >>>

こんにちは、劇団くらげです！私たちは福井県立大学と合同で活動を行っており、例年、年3回の公演に向けて台本の読み合わせや発声練習、ボイスドラマ作成等に励んでいます。昨年度は暁祭(福井大学学校祭)、白樺祭(県立大学学校祭)での公演に加え、冬公演も行うことができ、多くの方に観ていただくことができました。経験者も未経験者もどなたでも楽しく活動ができる部活です。実際、現在の部員の多くは大学から演劇を始めました。台本を作ることも、演じることも、演出も、スタッフワークもどれも楽しいですよ！「劇団くらげ」で検索していただければ、当部活のYoutubeチャンネルやX、Instagramが見つかると思います。見学希望や質問は気軽にDM等で連絡してください。また、基本的には毎週水曜日の18時から活動をしています。アポなしでの飛び入り参加も大歓迎ですので、ぜひ部室を覗きにきてくださいね！



アカペラサークル MusicGlass >>>

こんにちは、福井大学医学部アカペラサークルです！

アカペラサークルでは歌うことが好きな人が集まって日々活動しており、部員は現在30人程度です！

イベントが一年を通してたくさんあり、どれも基本的には参加自由なので入部した後も自分のペースで気軽に続けることができます。また、部員のほとんどが兼部しているので兼部の心配はいりません！

～アカペラとは～

アカペラとは声のみを使って楽曲を演奏することである。皆さんがよく耳にするJ-POPや流行りの曲、洋楽など楽器を使わずに声だけで演奏します！基本的には六人で一つのバンドを結成し、それぞれにパートを振り分けられます！

～こんな人におすすめ～

歌うことが好きな人、音楽が好きな人、カラオケが趣味の人、大歓迎です！音楽の経験がなくても大丈夫！初心者をはじめの先輩もサークル内にはたくさんいますし、先輩方が優しく一から教えてくれます！



ECS >>>

ECSは福井大学医学部が誇る、あのドクターG林寛之先生と一緒に医療会話を楽しく学ぶサークルです！内容は英語版ドクターGのような感じで、林先生が患者役となって私たちが英語で（日本語も可）質問し、診断を目指すという感じです。難しそうだと思うかもしれませんが、林先生や先輩方が優しく教えてくださるので、1年生からでも余裕です！というか最近は低学年が多い印象ですから、緊張しなくても大丈夫です。英語が苦手・話せない人も大歓迎！自分も全然話せません！活動は月に1回程度で、ゆるい感じなので気軽に参加できます。最近はズームで活動をしています。医学英語は将来必ず役に立つので、とても有意義な時間が過ごせます。ぜひ皆さんも参加してください。



てつがくカフェ@ふくmedi >>>

てつがくカフェ@ふくmediは、不定期に学内・学外・オンラインで対話形式のイベントや読書会などを行っています。いま、医学・医療（ケア）の現場で問われている、根本的、すなわち哲学的な課題に対して「てつがくカフェ」という営みを通して一緒に考えてみませんか？哲学の知識は一切必要ありません。気軽な気持ちでご参加ください！開催時には学内掲示やSNS等で告知します。ご連絡はX@tcafe_fukumediまで。

小児ボランティアサークル >>>

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。私たち小児ボランティアサークルは平日の夕方に一時間、小児科病棟に入院している子供たちと一緒に遊んでいます。入院中の経験は、初めて経験することも多く、記憶に残りやすいです。つらかった治療の記憶もあれば、同じ病室の子と話したり遊んだりした楽しい記憶もあると思います。私はこの活動が少しでも子供たちの楽しい記憶として残ってもらえればと思っています。一緒に遊び終わって帰る時に、「もっと遊んで」とお願いしてくる子や悲しくて泣き出す子もいます。こうした子を見ると、今日も来て良かったと感じます。私は入院している子供たちに少しでも元気を届けようと思ってこのサークルに入りましたが、実際に子供たちと遊んでいると、むしろ元気をもらっているのは私であるように感じています。遊んでいる子供の笑顔は本当に可愛いです。興味がある方、是非一緒に活動しましょう。コロナの影響により活動が難しくなっておりますが、小児科からの許可が下り次第再開します。



邦楽部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私たち邦楽部は週1～月1回の約2時間、福利棟1階の和室でお箏の演奏をしています。ジブリなどの現代曲が中心で、昨年は魔女の宅急便の「海の見える街」などを練習していました。部員数10人ほどの小さいサークルなので、みんなで教え合いながら和気あいあいと活動しています。

お箏の演奏は難しそうと思われるかもしれませんが、楽譜は五線譜ではなく漢字で書かれているので、すぐに演奏できます。部員のほとんどが大学で初めてお箏に触れました。初心者大歓迎です！ゆるい雰囲気でも運動部と兼部している部員も多いので、テストやそれぞれの予定に合わせて活動日を決めています。

まずは体験だけでも気軽に覗いてみてくださいね。みなさんと一緒に演奏できることを楽しみにしています。



地域医療サークルぷちぷら >>>

地域医療サークルぷちぷらでは、地域医療やプライマリケアについて学んでいます。学ぶと言っても難しい本や教科書を読まれるわけではありません！メインのイベントは夏に合宿を通じて地域の人と話したり、街巡りをしたり、そばを打ったりします！また勉強会なども不定期で開催しており、その他にも私たちがやりたいことはなんでもできます！もちろんサークルなので参加も兼部も自由です。このようにぷちぷらはとても自由に活動しています。ぜひぷちぷらを通して仲間と出会い、良い思い出を作りましょう！



留学生交流サークルEXCHANGE >>>

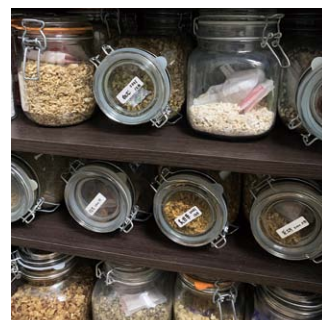
私達は留学生との交流活動を行っています。具体的な活動としては、留学生の歓送迎パーティーや、福井やその近辺の観光、日常生活のお手伝いなど、留学生が楽しく快適な留学生活を送れるような様々な活動を行っています。活動への参加方法は、まず学内掲示板等のビラに記載の連絡先か、もしくは X (旧 Twitter) で「留学生交流サークルEXCHANGE」を検索し連絡して頂くと、こちらからLINE グループに招待します。その後、留学生の来日期間中にグループLINE でイベントへの参加やお手伝いを募集しますので、それに応答することで自分の好きな時に活動に参加できます。留学生と友達になりたい、実践的な英語能力を身に付けたい、海外に興味があるという方は、是非お待ちしております！コロナ禍で留学生が来日できず活動できていませんでしたが、留学の制限は緩和されてきました。これから留学生も増えてくるのでこの機会に留学生と交流してみませんか？

東洋医学研究会 >>>

東洋医学とは、文字通り東洋で生まれ発展した伝統医学です。その歴史は2000年とも3000年とも、もっと古いという説もあります。東洋医学では、症状からすぐに治療法を決めるのではなく、その人の体質や状態などをふまえ総合的に治療法を判断していきます。なので、同じ鼻風邪であっても、人によって処方が異なる場合もあります。究極のオーダーメイド医療です！

当サークルでは、このような東洋医学のうち、主に中医学について勉強しています。正確な診断（問診や望診など）をする練習や、古典の読み合わせ、症例検討会などを行なっています。近隣の金沢大学や金沢医科大学と、合同勉強会や合宿も開催しています。

もちろん初心者大歓迎！テスト勉強で疲弊した体で部室に行ったら、先輩があなたの体にあった漢方を処方してくれるかも！？西洋と東洋、二刀流なんて最強です。一緒に楽しく学びましょう。



第44回 福井大学医学部「暁祭」について

松岡キャンパスでは、毎年10月に福井大学医学部祭として「暁祭」が開催されています。今年度は、2024年10月13日（日）～14日（月・祝）の2日間で開催予定です。

暁祭は、学生同士が親睦を深めるとともに、地域の皆様に本学医学部へのご理解を深めていただくことを目的としています。毎年恒例の学生による模擬店はもちろん、直近の開催にあたる第42回ではお笑い芸人のロッチさん、過去には我が家さんや四千頭身さんなどの豪華ゲストをお呼びしており、例年会場は大いに盛り上がりを見せております。

例年、ご入学される皆様に運営資金の一部をご負担していただくことをお願いしております。詳細は新入学生向けにお送りしている別紙「福井大学医学部暁祭に関するお願い」をご確認いただけますと幸いです。何卒、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第44回 福井大学医学部 暁祭実行委員会



令和6年度 福井大学医学部授業日程 >>>

from 学務課

■変更となる可能性があります。ホームページ等にて随時情報を発信しますので、ご確認ください。

※夏季・冬季・春季休業日は、学科、学年によって異なります。必ず授業時間割で確認してください。

4月

- 1日～ 医学科5年実習
- 6日 入学式
- 8日、9日 新入生オリエンテーション
- 10日 前期授業開始
- 10日～16日 履修科目登録期間
- 17日～23日 履修科目登録確認・修正期間
- 15日、23日 定期健康診断
- 19日 新入生研修 1日目

5月

- 7日～ 医学科6年実習
- 7日～24日 看護学科4年実習
- 10日 新入生研修 2日目
- 24日 納骨式(医2年)、動物慰霊祭
- 25日 合同慰霊祭・御遺骨返還式(医・看2年)
- 5月下旬～3月下旬 看護学科3年実習

7月

- ※7～8月 医学科4年 共用試験CBT予備校模試(予定)
- ※7～8月 医学科6年 医師国家試験予備校模試(予定)

8月

- 8月上旬 看護学科1年実習
- 8月上旬～下旬 西医体(未定)
- 7日 医学部オープンキャンパス
- 8月6日～9月30日 夏季休業*(14日～16日 大学一斉休業)

9月

- 9月中旬 医学科4年 共用試験CBTプレテスト(予定)
- 21日 医学科6年 Post-CC OSCE
- 9月下旬 医学科5年 医師国家試験予備校模試(予定)

10月

- 1日 開学記念日、後期授業開始
- 1日～7日 履修科目登録期間
- 8日～11日 履修科目登録確認・修正期間
- 2日～3日 医学科4年 共用試験CBT
- 11日 晩祭準備のため休講
- 13日～14日 晩祭
- 15日 一部休講(医3年午前)
- 19日 医学科6年Post-CC OSCE(予備日・追再試験)

11月

- 9日 医学科4年 共用試験OSCE
- 13日 医学科4年 共用試験CBT追試験・再試験
- 30日 医学科4年 共用試験OSCE(予備日・追再試験)

12月

- 11日 医学科4年 共用試験CBT(臨時再試験・予定)
- 12月26日～1月3日 冬季休業*

1月

- 14日～ 医学科4年実習(予定)
- 17日 大学入学共通テスト準備のため休講
- 18日～19日 大学入学共通テスト(17日～19日入構禁止)

2月

- 2月上旬 看護学科2年 実習
- 6日～ 春季休業*
- 21日 入学試験[前期日程] 準備(21日～26日入構禁止)
- 25日～26日 入学試験[前期日程]

3月

- 11日 入学試験[後期日程] 準備(11日～12日入構禁止)
- 12日 入学試験[後期日程]
- 24日 学位記授与式

ご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

ご寄附総額 40,735,000円 寄附申込数 567件(延べ数)

令和5年1月1日～令和5年12月31日

10万円以上のご寄附を賜りました方のご芳名は以下の通りです（順不同）

宇都木敏浩 様	小坂 浩隆 様	森部 一穂 様	林 寛之 様	濱野 忠則 様	市橋 幸三 様
松原 泰代 様	五十嵐 充 様	稲谷 大 様	森岡 浩一 様	吉岡 正修 様	山田 雅己 様
久津見 弘 様	田中 浩人 様	岡田 映子 様	岩野 正之 様	高橋 直生 様	高村 佳弘 様
長谷川 稔 様	藤枝 重治 様	松崎 秀夫 様	上原 佳子 様	松岡 達 様	田上 久樹 様
大谷 昌弘 様	川尻 勝久 様	河原 優 様	細川 正人 様	真鍋 恭弘 様	山内 高弘 様
北井 隆平 様	佐藤 壮司 様	岩崎 博道 様	丹羽 弘之 様	都築 秀明 様	梅田 仁視 様
濱脇 正好 様	栗本沙里奈 様	小嶋 章弘 様	糟野 健司 様	酒巻 一平 様	石塚 全 様
高嶋 涉 様	沢田 武夫 様	小久保安朗 様	谷島 裕之 様	佐々木浩樹 様	早稲田優子 様
石黒 和守 様	海沼 和幸 様	福元進太郎 様	有島 英孝 様	山口 明夫 様	江部 晃一 様
杉本 千鶴 様	秋山 恵子 様	大坂 正浩 様	岩崎健太郎 様	菅井 学 様	山木 源 様
千原 一泰 様	川畑由美子 様	定 清直 様	清川 亨 様	伊藤 聡久 様	大村 光浩 様
立松 康 様	大坪 俊雄 様	濱島 有喜 様	若松 宏和 様	平工 雄介 様	山村 修 様
山崎 幸直 様	金山ひとみ 様	関岡 雄二 様	小林 実 様	中村 和彦 様	菅野 真史 様
福元 廣次 様	加藤 夕 様	須藤 弘之 様	福岡 久邦 様	高林 哲司 様	成田 憲彦 様
和田 政則 様	菊田健一郎 様	青木 耕史 様	四谷 淳子 様	繁田 里美 様	磯見 智恵 様
松田 謙 様	佐藤 大介 様	吉田 好雄 様	齊藤 雄二 様	知野 剛直 様	長谷川秀男 様
岡本 昌之 様	森川 充洋 様	須田 和義 様	廣田 智哉 様	重見 研司 様	田中 信之 様
中井 昭夫 様	松嵜 静江 様	井川 正道 様	西森 一久 様	前田 浩幸 様	田中 太晶 様
伊藤 有未 様	長谷川美香 様	楠川加津子 様	波崎由美子 様	木村 有一 様	山路 敦子 様
山路 倫生 様	内匠 透 様	木村 利男 様	五井 孝憲 様	寺田 直 様	大坂 幸子 様
大洞 尚司 様	塚原 孝浩 様	坪川 操 様	澤井 孝宏 様	三崎 裕史 様	田中 健 様
田邊佐和香 様	福元 千鶴 様	今村 好章 様	武藤 理 様	竹内 一雄 様	梅田 幸寛 様
竹本 正興 様	高松 和弘 様	安野 哲也 様	嶋田 明彦 様	鈴木 快文 様	松木 悠佳 様
羽山 貞宏 様	神谷敬一郎 様	福居 留依 様	磯橋 文明 様	小畑友里江 様	新美 佳苗 様
天野 雄平 様	内木 宏延 様	馬場三千代 様	祖父江 展 様	大森 弘則 様	木村 宏輝 様
意元 義政 様	井上 雅文 様	桑原 慎治 様	坂下 雅文 様	山岸 孝広 様	城井 啓 様
木村 幸弘 様	鈴木 弟 様				

その他 10万円未満の方 362名

ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い >>>

福井大学医学部は、福井医科大学医学科として1980年（昭和55年）に開学し、これまでに約3,900名が卒業し、第45期生が2024年から医師を目指しています。

看護学科は、1997年（平成9年）に設置され、今年28期生が入学し看護師・保健師・助産師を目指しています。

医学部では、最新の医学・看護学知識や技術のみならず、人と社会を健やかにする愛と人命を尊重する信条を学生に提供することで、グローバル社会で活躍できる優れた能力を有し、かつ社会に貢献できる愛に満ちた医療人、さらには次世代の医学・看護学を開拓できる人材を養成したいと考えています。同時に、世界レベルの画期的な研究成果を目指して基礎研究・臨床研究を行うことで、人々の病気克服と健康維持に貢献したいと思っています。そのため高い学習効果が期待できるカリキュラム作成、福井大学発のF.C.E.S.Sという実際の診療カルテにリンクした学生電子カルテを使用、語学演習室を整備し臨床に通用する英語習得、がん・神経（発達障害・認知症）・アレルギー免疫等の疾患克服を目指した先進的研究、新たな医療技術開発や地域医療、災害医療の向上を目指した研究、こころを反映した脳科学の見える化を目指しています。

今回、これら事業の実現に向けて、卒業生を含め広く学内外の皆様から永平寺町のふるさと納税制度を利用して、福井大学医学部の教育・研究活動の支援や魅力ある医学部・松岡キャンパスづくりのための環境整備等に活用させていただきたいと考えております。

次世代を担う福井大学医学部学生のために、ふるさと納税制度を活用したご寄附にご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

今までの整備状況

・学生の学修スペースの整備

Active Learning Hub 広々とした明るい雰囲気です



Co-Learning Room グループ学修室



「ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い」

<https://www.med.u-fukui.ac.jp/furusato/>



「福井大学基金（羽ばたけ基金）[®]」へのご寄附のお願い

福井大学基金は、全学を対象とした修学支援、卓越高度専門職業人育成支援、グローバル化・地域振興支援等を目的にしています。医学部では、令和5年度は、主に奨学金支給や学生の学修環境の整備等に活用させていただいております。次世代を担う若者達を守り育てるため、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

〈学生さんからの感謝のメッセージ〉

◆奨学金のおかげで、負担が軽減され、教育環境が向上しました。学費や教材費の負担が軽くなり、学びに集中できました。また、先端的な研究や実習に参加する機会も得られ、将来の医療への貢献の基盤を築けました。医療の分野で貢献できるよう努力し続けます。

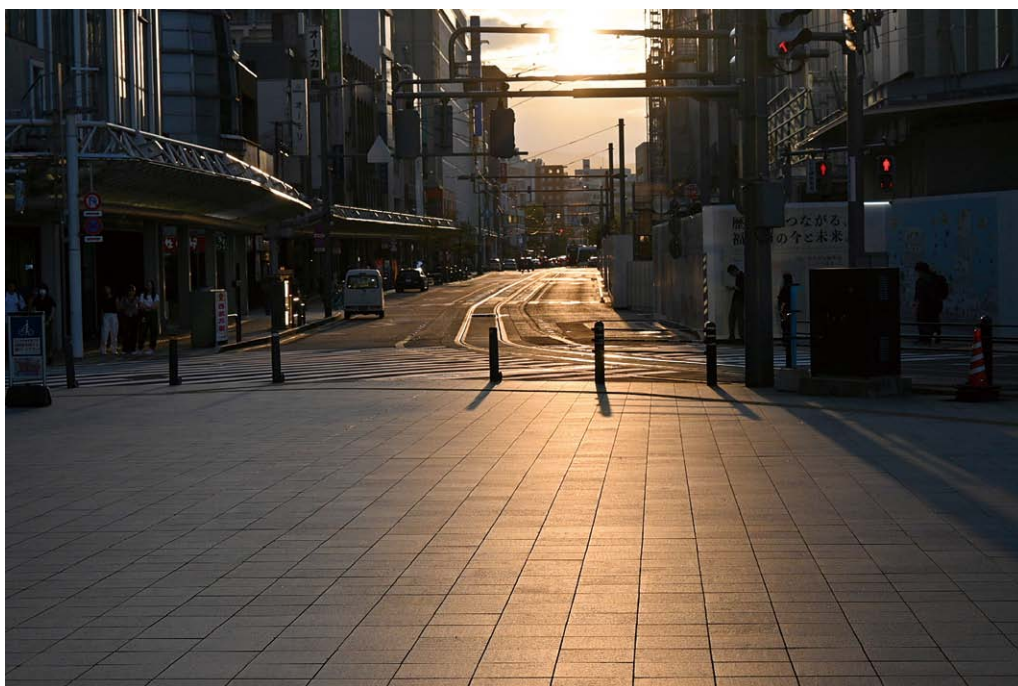
「福井大学リサイクル募金」について

「福井大学リサイクル募金」は、不要になった古本等を皆様からご提供いただき、その査定換金額が「福井大学基金」に寄附される取組です。是非ご協力ください。

福井大学基金、福井大学リサイクル募金の詳細については、福井大学基金ホームページをご覧ください

<https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>





福井駅西口から撮った中央大通り（医学部生提供）

編集後記 >>> 編集委員 西村 高宏

新入生の皆さん、福井大学医学部へのご入学、おめでとうございます。

これまで皆さんは、この言葉を多くの方から、そして何度も投げかけられてきたのではないのでしょうか。皆さんはこの言葉を単なる〈お祝いの言葉〉として受け止めておられるかもしれません。しかし、この言葉を私たち医学部教職員が投げかけるとき、そこには背筋がピンと伸びるような、ある種の緊張のようなものが走ります。「これから皆さん自身の学びや大学生活をしっかりと支えていくことができるだろうか、社会に貢献できる医療者になるという夢の実現に丁寧に寄り添っていただけるだろうか」、そういった気持ちの張りが、この「おめでとう」という何気ない言葉の裏側でつねに響いているからです。もちろんこういった気持ちの張りは、皆さんのご家族においても同様に違いありません。

そう考えてみると、この言葉は、私たち教職員やご家族、そして、まさにこれから険しい医学の道に進む皆さんとのあいだで強力なタッグを組み、社会に貢献できる優れた医療者になるという夢の実現に向けてともに乗り出していくことをそれぞれに約束する、いわゆる〈決意表明の言葉〉と言えなくもありません。

本誌には、これから皆さんとタッグを組んでいく教職員や在校生の顔や言葉、そして思いがいくつも鑲められています。掲載されている数々の言葉や声に触れることをとおして、これから始まる皆さんの学びや生活がけっして孤独なものではなく、その背後にはつねに多くの仲間が控え、皆さんのチャレンジがつねに支えられているということを忘れないでください。本誌が、そういったことへの気づきを与えるきっかけとしてみなさんの手元に届くなら、編集者の一人としてこれ以上の喜びはありません。皆さん、医学部へのご入学、本当におめでとうございます。

福井大学では令和4年4月1日に福井県が推進する「ふくいSDGsパートナー」に登録され、今後もSDGsの達成に資する活動を実践するとともに、活動状況を積極的に配信していきます。

令和5年度から医学部広報誌「くずりゅう」は印刷冊数を減らし、インターネットで配信することでSDGsの活動に取り組みます。

医学部広報誌編集委員会 >>>

委員長	清野 泰	（高エネルギー医学研究センター）
委員	西村 高宏	（医学教育・倫理学）
委員	稲谷 大	（眼科学）
委員	山田 雅己	（分子生体情報学）
委員	礪波 利圭	（基盤看護学）

編集：松岡キャンパス学務課学生担当

